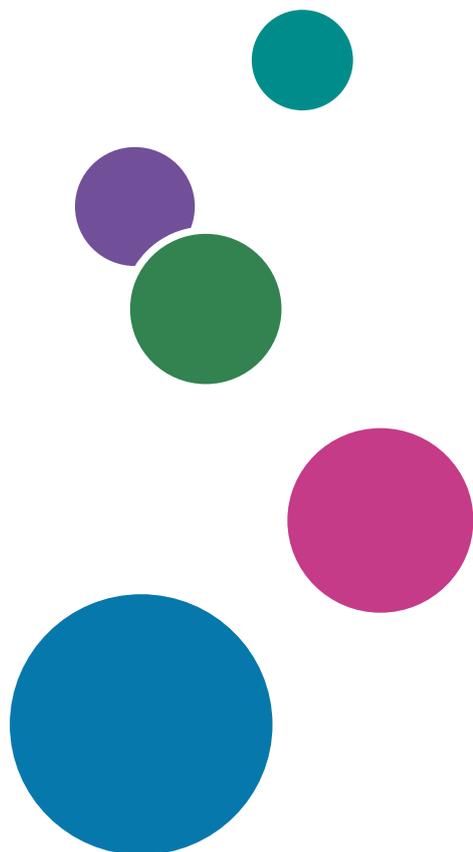




インストールガイド

セットアップの概要	1
RICOH Auto Color Adjusterをセットアップする	2
必要なアプリケーションをセットアップする	3
機器を接続する	4
本体設定	5
初期設定	6
設定時のトラブルシューティング	7
RICOH Auto Color Adjusterをアップデートする	8
本機と接続しているコンピューターを入れ替える	9
アプリケーションをアンインストールする	10

本書に記載されていない情報については、製品のヘルプ・システムを参照してください。



はじめに

本機のマニュアル

RICOH Auto Color Adjusterに関する追加情報は、他のマニュアルにも記載されています。

使用説明書

本機には以下の使用説明書が付属されています。

- 「RICOH Auto Color Adjuster：安全上のご注意」
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項、各規制や環境対応について説明しています。本機のご利用前に必ずお読みください。
- 「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」
アプリケーションのインストールや、本機のご利用前に必要な各種設定について説明しています。本機のご利用前に必ずお読みください。
- 「RICOH Auto Color Adjuster：ユーザーガイド」
本機の機能と各機能の操作方法について説明しています。また、エラーメッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。
- 「RICOH Auto Color Adjuster：クイックガイド」
本機の基本的な使いかた、よく使用する機能について説明しています。また、エラーメッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。
- RICOH Auto Color Adjusterリリースノート
新機能やアップデート、既知の制限、問題、回避策、コード変更要求など、RICOH Auto Color Adjusterリリースに関する情報が記載されています。

使用説明書は英語、日本語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語で提供されています。リリースノートは英語版のみ提供されています。

使用説明書は、[RICOH Software Information Center \(https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter/\)](https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter/) または製品内のヘルプメニューからダウンロードできます。

RICOH Auto Color Adjuster Information Center

Information Center には、管理者、監督者、およびオペレーターがRICOH Auto Color Adjuster について学び、インストールし、使用するのに役立つトピックが含まれています。Information Centerにはクイックナビゲーションと検索機能が提供されています。

RICOH Auto Color Adjusterヘルプ

ヘルプシステムには、管理者、監督者、およびオペレーターがRICOH Auto Color Adjuster について学び、使用するのに役立つトピックが含まれています。RICOH Auto Color Adjusterヘルプは、アプリケーションのユーザーインターフェースとWebのユーザーインターフェースの両方から利用できます。

使用説明書に使用されているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。



重要

本機をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。また、用紙の給紙エラーや原稿の破損、データの消失につながる可能性のある項目について、問題を引き起こしている可能性が高い原因も説明しています。



補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。



注意

指示に従わない場合、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

[太字]

角括弧の [太字] はキー、メニュー、メニュー項目、フィールドラベル、設定、ボタンの名称を示します。

[]

大括弧は、キー、メニュー、メニュー項目、フィールドラベル、設定、ボタンの名前を示します。

斜体

イタリック体は、ユーザー独自の情報に置き換える変数を示します。

等幅フォント

等幅フォントは、コンピューターの入出力やファイル名を示します。

本書で使用されている略語

API

アプリケーションプログラミングインターフェース

AVE

平均

C

シアン

CMYK

シアン、マゼンタ、イエロー、キー（ブラック）

CPU

中央処理装置

DFE

デジタルフロントエンド

EXE

実行ファイル

GB

ギガバイト

GCR

グレーコンポーネント交換

GPL

一般公衆ライセンス

HTTPS

ハイパーテキスト転送プロトコル

ID

識別子

ICC

国際標準化機関

IP

インターネットプロトコル

ISO

国際標準化機関

K

ブラック

M

マゼンタ

MIM

メディアインクメタモード

mm

ミリメートル

MAX

最大

PC

パーソナルコンピューター

PDF

ポータブル文書形式

RAM

ランダムアクセスメモリー

REST

レプリゼンテーションステイトトランスファー

RIP

ラスター画像処理装置

SSL

セキュアソケット層

TCP

トランスミッションコントロールプロトコル

TIFF

タグ付き画像ファイル形式

UAC

ユーザーアカウント制御

USB

ユニバーサルシリアルバス

VPC

検証プリントの作成

Y

イエロー

おことわり

本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

大切な文書やデータは、コピー（複製）をとってください。お客様が操作をミスした場合は、あるいは本製品に異常が生じた場合は、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェア等に対する予防措置は、お客様の責任で講じてください。

お客様が本製品を使用して作成した文書やデータを運用した結果については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本書についてのご注意

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品の改良または変更により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- お住まいの国によって、特定のユニットはオプションになります。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製、複製、改変、引用、転載することはできません。

商標

Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Apache、Tomcat は、Apache Software Foundation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Command WorkStation、Fiery、Fieryロゴ、EFIロゴは、Electronics For Imaging, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

FOGRAはFOGRA Forschungsgesellschaft Druck e.V.の登録商標です。

Google Chromeは、Google LLCの商標です。

GRACoL®はIdeallianceの登録著作権です。

Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Visual C++、BitLockerは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows 10 の製品名は以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® 10 Home
- Microsoft® Windows® 10 Pro
- Microsoft® Windows® 10 Enterprise
- Microsoft® Windows® 10 Education
- Microsoft® Windows® 10 Mobile
- Microsoft® Windows® 10 Mobile Enterprise

Windows 11 の製品名は以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® 11 Home
- Microsoft® Windows® 11 Pro
- Microsoft® Windows® 11 Pro Education
- Microsoft® Windows® 11 Pro for Workstations
- Microsoft® Windows® 11 Enterprise
- Microsoft® Windows® 11 Education

Japan Color及びジャパンカラーは一般社団法人日本印刷学会と一般社団法人日本印刷産業機械工業会の商標登録です。

本書に記載されているその他の製品名は、識別のためにのみ使用されており、各社の商標である場合があります。当社では、このような商標に関する一切の権利を否認します。

Microsoft Corporationのガイドラインに従ってMicrosoft社製品の画面写真を使用しています。

目次

はじめに

本機のマニュアル.....	1
使用説明書に使用されているマークの意味.....	2
本書で使用されている略語.....	2
おことわり.....	4
本書についてのご注意.....	4
商標.....	5

1 セットアップの概要

プリンターの使用に必要なアプリケーション.....	11
同梱のUSBフラッシュメモリーに格納されているファイル.....	11
コンピューターのシステム要件.....	12
コンピューターの使用環境.....	13
セットアップの流れ.....	13

2 RICOH Auto Color Adjusterをセットアップする

ライセンス管理のためのクラウド接続用パスワードを登録する.....	15
RICOH Auto Color Adjusterをダウンロードしてインストールする.....	15
IPアドレスを確認する.....	17
ポート番号を確認する.....	18

3 必要なアプリケーションをセットアップする

Fiery Command Workstationをインストールする.....	19
Fiery Command Workstationを入手する.....	19
Fiery Command Workstationをインストールする.....	19
Fiery Command Workstationを非表示にする.....	20
ColorGATE Productionserverをセットアップする.....	22
ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定する.....	22
GPL Ghostscriptをインストールする.....	25
Ghostscriptをインストールする.....	25

4 機器を接続する

本機をコンピューターに接続する.....	29
本機を複数台で使用する.....	30

5 本体設定

本体設定画面を表示する.....	31
RICOH Auto Color Adjusterの表示言語を切り替える.....	31
本体設定画面の設定項目.....	32

本体設定.....	32
読み取り設定.....	33
Auto Color Adjusterサーバーの設定	35
ProductionServerの設定.....	36
ベーシック認証.....	37
ファームウェアアップデート.....	37
バックアップ/リストア/ログ	38
使用しているソフトウェア.....	39
ライセンス管理.....	40
本体設定を構成する.....	41
ネットワーク設定を構成する.....	44
Auto Color Adjusterのサーバー証明書を作成する	46
ProductionServerの設定をする	48
ベーシック認証を指定する.....	50

6 初期設定

[初期設定] 画面を表示する.....	53
初期設定のデフォルト表示言語を変更する.....	55
[初期設定] 画面.....	55
[チャート追加／編集] 画面の設定項目.....	57
[ロケーション管理] 画面の見かた.....	58
[プリンター管理] 画面の画面構成.....	59
[プリンター追加／編集] 画面の設定項目.....	60
[用紙管理] 画面の画面構成.....	61
[用紙追加] 画面の設定項目.....	61
[閾値設定] 画面の設定項目.....	62
[その他の設定] 画面の設定項目.....	66
初期設定を構成する.....	66
[初期設定] 画面を表示する.....	67
[初期設定] の基本的な設定をする.....	67
[初期設定] にチャートを登録する.....	69
チャート用PDFファイルをDFEに登録する.....	69
[初期設定] で登録したチャートを編集する.....	71
[初期設定] で登録したチャートを削除する.....	71

7 設定時のトラブルシューティング

トラブルシューティング（本体設定）	73
本体設定を開始できないとき.....	73

本体設定にメッセージが表示されたとき	73
トラブルシューティング（初期設定）	74
初期設定画面が表示されないとき	74
[初期設定] でメッセージが表示されたとき	75
8 RICOH Auto Color Adjusterをアップデートする	
RICOH Auto Color Adjusterバージョンを更新する	77
RICOH Auto Color Adjusterのバックアップを作成してリストアする	78
RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成する	79
RICOH Auto Color Adjusterの設定をリストアする	80
9 本機と接続しているコンピューターを入れ替える	
コンピューター入れ替え作業の流れ	83
データバックアップを作成する	83
RICOH Auto Color Adjusterの設定情報と校正モデルファイルのバックアップを作成する	83
ColorGATE Productionserverライセンスファイルのバックアップを作成する	85
データをリストアする	86
RICOH Auto Color Adjusterの設定情報と校正モデルファイルをリストアする	86
ColorGATE Productionserverのライセンスファイルをリストアする	88
RICOH Auto Color Adjusterをアクティベートする	89
10 アプリケーションをアンインストールする	
RICOH Auto Color Adjuster をアンインストールする	93
システム環境変数からGPL Ghostscriptのパスを削除する	93

1. セットアップの概要

- プリンターの使用に必要なアプリケーション
- コンピューターのシステム要件
- セットアップの流れ

このセクションでは、本機を使用するために必要なアプリケーション、システム要件、およびセットアップの流れについて説明します。

プリンターの使用に必要なアプリケーション

本機を使用するには、付属のUSBケーブルで本機に接続しているコンピューターに、以下のアプリケーションをインストールしてください。

アプリケーション	概要
RICOH Auto Color Adjuster	[かんたん色調整]、[色見本合わせ]、[カスタム測色]の機能を搭載した専用のアプリケーションです。
Fiery Command Workstation バージョン：6.8.0.514以降	RICOH Auto Color Adjusterの[かんたん色調整]機能を使用するために必要なアプリケーションです。Fiery Command Workstationは、Fiery DFEを使用する際のプロファイルの自動登録に使用されます。
ColorGATE Productionserver バージョン：23.00、ビルド：15040以降	RICOH Auto Color Adjusterの[かんたん色調整]機能を使用するために必要なアプリケーションです。ColorGATE Productionserverはプロファイルの自動作成に使用されますが、ユーザーの操作は必要ありません。
GPL Ghostscript バージョン：9.27	RICOH Auto Color Adjusterの[色見本合わせ]機能を使用して、原稿データ(PDF)をTIFF形式の画像データに変換するために必要なアプリケーションです。ユーザーのGPL Ghostscriptの操作は必要ありません。

↓ 補足

- ColorGATE ProductionserverとFiery Command Workstationをアップデートすると、RICOH Auto Color Adjusterが正常に動作しなくなる可能性があります。
- アプリケーションをインストールするコンピューターのシステム要件については、P. 12 「[コンピューターのシステム要件](#)」を参照してください。
- 各アプリケーションのインストールについて詳しくは、P. 13 「[セットアップの流れ](#)」を参照してください。

同梱のUSBフラッシュメモリーに格納されているファイル

本機にはUSBフラッシュメモリーが同梱されています。フォルダー構造と格納されているファイルは以下のとおりです。

⚠ 注意

-  USBフラッシュメモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤ってUSBフラッシュメモリーを飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- USBメモリーは安全で確実な場所に保管し、紛失しないようにしてください。

フォルダー	ファイル	説明
chart	RACA_TestChart.pdf	同梱の色見本印刷サンプルで [色見本合わせ] をするとき使用する原稿データです。
model	MI_Calib_xxxxxxx.mdl (xxxxxxx は読み取りユニットのシリアル番号を示します。)	本機で取得した測定値をカラー情報に変換するための変換ファイルです。本機のセットアップに使用されます。
qca	このフォルダーには、初期設定で 101 個以上のチャートを登録したときに、[かんたん色調整] で使用するプロファイル作成用チャートと、色検証用チャートが格納されています。ファイルを解凍し、初期設定で指定された番号のPDFファイルを使用します。	
	chartPDF_Fogra.zip	Fograで検証するときの色検証用チャートがこのファイルに圧縮されています。
	chartPDF_GRACoL.zip	GRACoLで検証するときの色検証用チャートがこのファイルに圧縮されています。
	chartPDF_JC.zip	JapanColorで検証するときの色検証用チャートがこのファイルに圧縮されています。
	chartPDF_Profile.zip	プロファイル作成用のカラーチャートを含む圧縮ファイルです。
sp	sp_factorydef_xxxxxxx.csv	工場出荷時の調整設定です。
	Lab_[cpxxxxxxx_nn].xism	このファイルは、本機で問題が発生した場合にカスタマーエンジニアが使用します。

コンピューターのシステム要件

アプリケーションをインストールするコンピューターのシステム要件について説明します。

★重要

- RICOH Auto Color Adjusterを実行する目的に限定された専用のコンピューターをセットアップします。このコンピューターを他の目的で使用すると、問題が発生することがあります。
- ユーザーアカウント制御 (UAC) で、業務上必要なデータのみアクセスできるように設定してください。

項目	要件
OS	Windows 10 Pro 64 bit、バージョン2004 以降 Windows 11 Pro
Webブラウザ	Google Chrome、バージョン93 以降
ハードウェア	CPU Intel Core i7-8650U 以上

項目	要件	
	RAM	16 GB 以上
	ディスク領域	256 GB 以上
	解像度	1,920 × 1,080 以上
	USBポート	USB 3.0 ポート × 1、USB 2.0/2.1 ポート × 1

コンピューターの使用環境

本機に接続するコンピューターは、以下の環境でを使用することを推奨します。以下の条件に満たないコンピューターに接続した場合、第三者からログインIDやパスワードなどを閲覧されることがあります。

- ハードディスク暗号化 (BitLocker) 設定
- ファイアウォール設定
 - HTTPSに使用するポートは、信頼できるアクセス元のみを許可し、その他のアクセス元は拒否するように設定してください。
 - 受信の規則で、443と15180のポートのアクセスは拒否するように設定してください。
- コンピューターで適切なユーザーとログインの管理の実施

セットアップの流れ

このセクションでは、本機をインストールした後のセットアップの流れについて説明します。

★重要

- Fiery Command WorkstationとColorGATE Productionserverのインストールが完了するまで、本機をコンピューターを付属のUSBケーブル2本で接続しないでください。デバイスドライバが正しく認識されなくなります。
- 本機を複数台で使用する構成では、まずサーバーの [本体設定]、[読み取り設定]、[初期設定] を行い、次にクライアントコンピューターの設定を行います。[初期設定] はサーバーで一括して設定することもできます。
 1. RICOH Auto Color Adjusterをインストールします。詳しくは、[P. 15 「RICOH Auto Color Adjusterをセットアップする」](#)を参照してください。
 2. Fiery Command Workstationをインストールします。詳しくは、[P. 19 「Fiery Command Workstationを入手する」](#)を参照してください。

↓補足

- Fiery Command Workstation は、Fiery DFE を使用している場合にのみ必要です。TotalFlow プリントサーバー または他のDFEを使用している場合、Fiery Command Workstation をインストールする必要はありません。
3. ColorGATE Productionserver をセットアップします。

1. Webブラウザで[ColorGATE Support \(https://support.colorgate.com\)](https://support.colorgate.com) を開き、ColorGATE Productionserverをインストールします。
2. ColorGATE Productionserver をアクティベーションします。
3. ColorGATE Productionserver を設定します。詳しくは、P. 22 「[ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定する](#)」を参照してください。

↓ 補足

- ColorGATE Productionserverのインストールとアクティベーションについては、ColorGATEユーザーマニュアルを参照してください。
 - ColorGATE Productionserverをアップデートすると、RICOH Auto Color Adjusterが正常に動作しなくなる可能性があります。
 - Fiery Command Workstation の前にColorGATE Productionserver をインストールすることができます。
4. GPL Ghostscriptをインストールします。詳しくは、P. 25 「[GPL Ghostscriptをインストールする](#)」を参照してください。
 5. 2本のUSBケーブルを使用して、本機とコンピューターを接続します。
 6. [本体設定] と [読み取り] 設定を行います。詳しくは、P. 31 「[本体設定画面を表示する](#)」を参照してください。
 7. [初期設定] を構成します。詳しくは、P. 53 「[\[初期設定\] 画面を表示する](#)」を参照してください。
 1. ロケーション設定を行うには、[ロケーション管理] を選択します。
 2. プリンター設定を行うには、[プリンター管理] を選択します。
 3. 用紙設定を行うには、[用紙管理] を選択します。
 4. カラーチャートを追加するには、[チャート追加] を選択します。
 5. [かんたん色調整] の判定基準を変更するには、[閾値設定] を選択します。
 6. プロファイルの保存場所を変更するには、[その他の設定] を選択します。

2. RICOH Auto Color Adjusterをセットアップする

- ライセンス管理のためのクラウド接続用パスワードを登録する
- RICOH Auto Color Adjusterをダウンロードしてインストールする

コンピューターから本機を操作するために、RICOH Auto Color Adjusterをコンピューターにインストールします。

ライセンス管理のためのクラウド接続用パスワードを登録する

★重要

- パスワードの有効期限を通知するメッセージが表示されたら、画面に表示される指示に従って通知メールを送信してください。送信された通知メールからクラウドにサインインできない場合は、サービス担当者にお問い合わせください。

1. 管理者に送信された通知メールを開き、[アカウントにサインイン] をクリックします。
2. [メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[サインイン] をクリックします。

↓ 補足

- パスワードは通知メールを確認してください。
3. [新規パスワード] に、大文字、小文字、数字、特殊文字を含む8文字以上のパスワードを入力します。
 4. [パスワードの確認] に再度パスワードを入力し、[パスワードを変更] をクリックします。
 5. [ユーザー] ボタン () をクリックします。
 6. [サインアウト] をクリックします。

↓ 補足

- パスワード登録後も定期的にパスワードを変更するように促すメールが届きます。
- 指定したパスワードは、ライセンス管理用のクラウドにアクセスするときに使用します。詳しくは、[P. 89 「RICOH Auto Color Adjusterをアクティベートする」](#) を参照してください。

RICOH Auto Color Adjusterをダウンロードしてインストールする

本機に接続されているコンピューターにRICOH Auto Color Adjusterをインストールします。

1. メーカーのWebサイトからインストーラーをダウンロードし、本機と接続するコンピューターに保存します。
2. 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピューターにログインし、すべてのアプリケーションを終了します。

- ダウンロードしたAutoColorAdjusterSetup_Verxxx.msiを実行します。

↓ 補足

- XXXはファイルがリリースされた日付によって異なります。
インストールウィザードが表示されます。

- [次へ] をクリックします。



m582om0603

- [使用許諾契約書に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
- [IPアドレス:]と[ポート番号:]を入力します。IPアドレスとポート番号の確認方法については、P.17 「IPアドレスを確認する」とP.18 「ポート番号を確認する」を参照してください。
- [次へ] をクリックします。
- [インストール] をクリックします。
インストールが開始されます。
- コンピューターを再起動するかどうかの確認画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- インストールが完了したら、[完了] をクリックします。
- 再起動するかどうかの確認画面で [はい] をクリックします。

↓ 補足

- コンピューターを再起動した後は、RICOH Auto Color Adjusterを起動しないでください。ColorGATE Productionserverがインストールされるまで、RICOH Auto Color Adjusterは正常に起動しません。
- Fiery Command Workstationを最初にインストールしない限り、Fieryコントローラーで [かんたん色調整] 機能を使用することはできません。
- コンピューターでは固定IPアドレスを使用します。コンピューターのIPアドレスが変わると、RICOH Auto Color Adjusterが正しく起動しません。

2

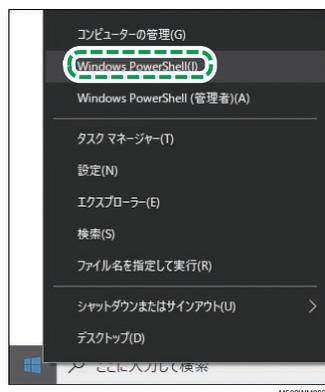
IPアドレスを確認する

↓ 補足

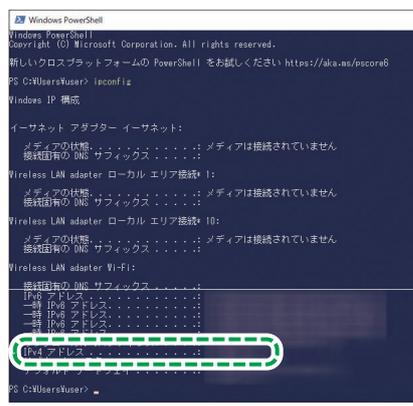
- 1台のコンピューターを使用する場合は、ソフトウェアをインストールするコンピューターのIPアドレスを確認してください。
- 複数のコンピューターを併用する場合は、サーバーとして使用するコンピューターのIPアドレスを確認してください。

IPアドレスを確認するには、次の手順を実行します。

1. [スタート] を右クリックし、[Windows PowerShell] を選択します。



2. ipconfigと入力し、[Enter] キーを押します。
3. IPアドレスを確認し、ウィザード画面で[IPアドレス:]に値を入力します。



3. 必要なアプリケーションをセットアップする

- Fiery Command Workstationをインストールする
- ColorGATE Productionserverをセットアップする
- GPL Ghostscriptをインストールする

RICOH Auto Color Adjusterには次のアプリケーションが必要です。

- Fiery Command Workstation
- ColorGATE Productionserver
- GPL Ghostscript

Fiery Command Workstationをインストールする

Fiery コントローラー（カラーコントローラー）と連携できるように、Fiery Command Workstationをコンピューターにインストールします。

すでにFiery Command Workstationを使用しているためインストールしない場合に、Fiery Command WorkstationにDFEサーバーを登録しているときは、Fiery Command Workstationで [サーバー] → [Fieryサーバーを除去] をクリックします。

Fiery Command Workstationを入手する

Fiery Command Workstationを入手するには、次の手順を実行します。

1. [RICOH Webサイト](https://support.rioh.com/bbv2/html/dr_ut_d/ut/index.htm)（https://support.rioh.com/bbv2/html/dr_ut_d/ut/index.htm）にアクセスします。
2. Fiery Command Workstationのインストーラーをダウンロードし、本機に接続するコンピューターに保存します。

Fiery Command Workstationをインストールする

本機に接続するコンピューターにFiery Command Workstationをインストールします。

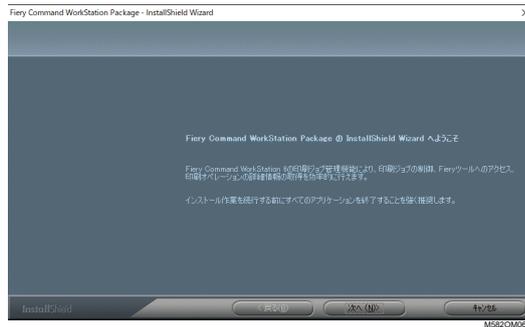
↓ 補足

- ウイルス対策ソフトウェアにより、インストールを中断される可能性があります。その場合、ネットワークケーブルを外すか、無線LANを機内モードに設定してコンピューターを一時的にネットワークから切断し、ウイルス対策ソフトウェアを無効にしてからインストールをやり直してください。

Fiery Command Workstationをインストールするには、以下の操作を行います。

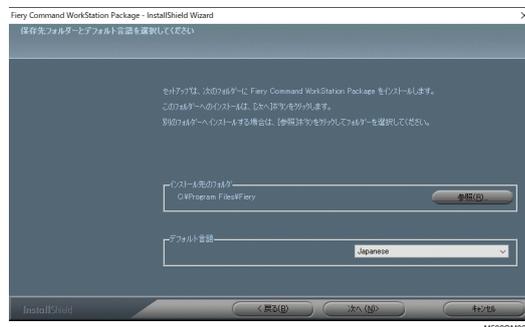
1. 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピューターにログインし、すべてのアプリケーションを終了します。
2. 入手したインストーラーを実行します。
ファイルが解凍され、CWSPackage6_8.exeが保存されます。
3. CWSPackage6_8.exeを実行します。
インストールウィザードが表示されます。

4. [次へ] をクリックします。



3

5. [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
6. インストール先とデフォルトの表示言語を指定し、[次へ] をクリックします。



7. インストールするのに十分なディスクの空き容量があるかどうかを確認し、[次へ] をクリックします。
8. スタートアップにショートカットを作成するかどうかを選択する画面で、[はい] をクリックします。
9. [インストール] をクリックします。インストールが開始されます。
10. インストールが完了したら、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。再起動後、Fieri Command WorkStation画面が表示されます。
11. Fieri Command WorkStation画面を閉じます。

Fieri Command Workstationを非表示にする

Fieri Command Workstationがアップデートされると、RICOH Auto Color Adjusterが正しく動作しなくなる可能性があります。予期しないアップデートを避けるため、タスクバーの通知領域にある [Fieri Software Manager] アイコンを非表示にすることをお勧めします。

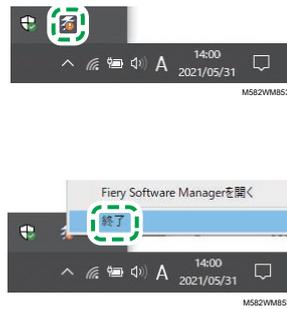
Fieri Command Workstationを非表示にするには、次の手順を実行します。

1. タスクバーの通知領域で、[インジケーター] ボタン (🔊) をクリックします。



2. [Fieri Software Manager] ボタンを右クリックします。

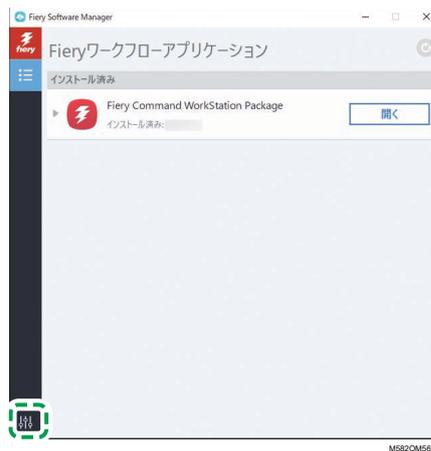
3. [終了] をクリックします。



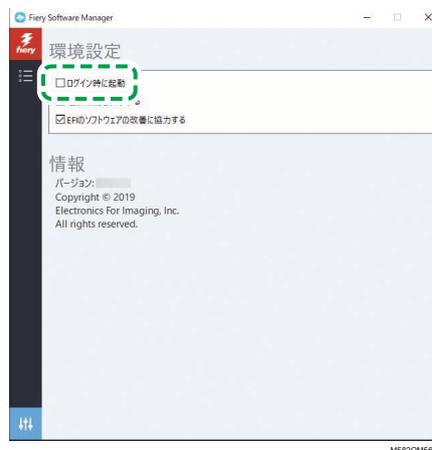
4. [スタート] → [Fiery] → [Fiery Software Manager] とクリックします。



5. アップデート画面が表示されたら、[アップデート] をクリックすると [環境設定] ボタンをクリックできます。



6. [ログイン時に起動] のチェックを外し、ウィンドウを閉じます。



7. Windowsを再起動し、タスクバーの通知領域にボタンが表示されていないことを確認します。

ColorGATE Productionserverをセットアップする

ColorGATE Productionserverを設定するには、ColorGATE サポートWebサイトにアクセスしてください。ユーザーの情報とライセンス番号をあらかじめ用意してください。

↓ 補足

- ColorGATE Productionserverのインストールとアクティベーションについては、[ColorGATEユーザードキュメント \(https://www.colorgate.com/fileadmin/user_upload/pdf/Guides_V23/SHL-SW/JP_ColorGATE_Getting_Started_SHL-SW_V23.pdf\)](https://www.colorgate.com/fileadmin/user_upload/pdf/Guides_V23/SHL-SW/JP_ColorGATE_Getting_Started_SHL-SW_V23.pdf) を参照してください。

- WebブラウザでColorGATE Support (<https://support.colorgate.com>) Webサイトを開きます。
- ユーザーを登録します。
- 製品を登録します。

↓ 補足

- プリンターには、[PDF FLAT LOW-RES] を選択します。
 - ライセンス使用モードには、[オフライン] モードを選択します。
- ColorGATE Productionserverインストーラーをダウンロードします。
 - [かんたん色調整] プロファイルの作成に使用するコンピューターにColorGATE Productionserverをインストールします。

↓ 補足

- ライセンスタイプの選択ダイアログで、[シングルホストライセンス/ソフトウェア (SHL-SW)] を選択します。
- ColorGATE Productionserver をアクティベーションします。
 - ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定します。詳しくは、P.22 「[ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定する](#)」を参照してください。

ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定する

設定に必要なファイルをコピーして、ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定します。

↓ 補足

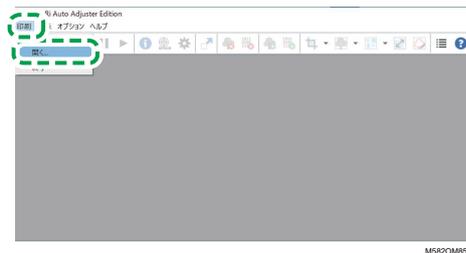
- ColorGATE Productionserverの自動更新を無効にします。
- コピー元フォルダーにある以下の5つのファイルを、コピー先フォルダーにコピーします。

コピー元フォルダー	ファイル	コピー先フォルダー
C: ¥RicohAutoColorAdjuster ¥inst¥PSsetting	PDF FLAT LOW-RES.cos	C:¥ProgramData ¥ColorGATE Software ¥Productionserver23 ¥Settings

コピー元フォルダー	ファイル	コピー先フォルダー
	Ricoh Auto Color Adjuster_v1.10.cmp	C:¥ProgramData ¥ColorGATE Software ¥Productionserver23 ¥Profiles
C: ¥RicohAutoColorAdjuster ¥inst¥PSsetting¥ccx	Ricoh Auto Color Adjuster.ccx	C:¥ProgramData ¥ColorGATE Software ¥Productionserver23 ¥Profiles¥Linearisation
	Ricoh Auto Color Adjuster.ccx.t03	
	RICOH Auto Color Adjuster.inf	

↓ 補足

- ProgramDataフォルダーが表示されない場合は、ファイルエクスプローラーで [表示] を選択し、表示 → [隠しファイル] を選択します。
2. デスクトップの [Productionserver23] アイコンをダブルクリックします。
 3. [印刷] → [開く...] を選択します。

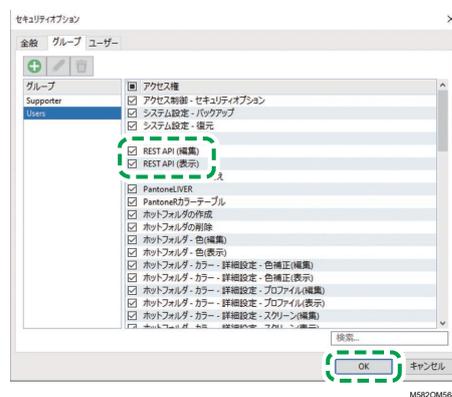


4. C:¥ProgramData¥ColorGATE Software¥Productionserver23¥Settings フォルダーで [PDF FLAT LOW-RES.cos] を選択します。
5. [オプション] → **MIM**管理...と選択します。
MIMの管理ダイアログが表示されます。
6. [MIMファイルのインポート] を選択し、[次へ] を選択します。
7. [参照...] をクリックし、C:¥ProgramData¥ColorGATE Software ¥Productionserver23¥Profiles フォルダーの Ricoh Auto Color Adjuster_v1.10.cmp を選択します。
8. [次へ] を選択します。
9. MIM定義の選択ダイアログで、設定を変更しないで [次へ] を選択します。
10. MIMの読み込みオプションダイアログで、設定を変更しないで [次へ] を選択します。
11. [完了] を選択します。
12. [オプション] → [アクセス制御] → [セキュリティオプション] と選択します。
13. Access Control Moduleデータベースが見つからないというメッセージが表示されたら、[OK] をクリックし、C:¥ProgramData¥ColorGATE Software ¥Productionserver23¥ACDB フォルダーを選択します。
14. パスワード設定ダイアログで [ABC] と入力します。
15. ログイン名とパスワードを入力し、[OK] を選択します。

補足

- デフォルトのユーザー名とパスワードは次のとおりです。
 - ユーザー名：Admin
 - パスワード：ABC
- パスワードを変更する場合は、半角英数字8～64文字で新しいパスワードを入力します。
- ユーザー名またはパスワードを変更した場合は、RICOH Auto Color Adjuster 設定の [ProductionServer設定] セクションに新しいColorGATE Productionserver ユーザー名 (ログイン名) とパスワードを入力します。

16. セキュリティオプションダイアログで、アクセスコントロールを有効にします。
17. [グループ] タブを選択します。
18. [REST API (編集)] と [REST API (表示)] を選択し、[OK] を選択します。



19. RESTサーバーダイアログを表示するには、[オプション] → [RESTサーバー...] を選択します。

補足

- 例外設定の確認ダイアログが表示されたら、[OK] を選択します。RESTサーバーダイアログが表示されます。
20. [起動時に自動的にサーバーを開始] と [ログ一覧を自動的に更新] を選択します。
 21. [オプション] → [プログラムの設定] → [システム] タブを選択します。
 22. [自動アップデートチェック] のチェックを外し、[OK] を選択します。
 23. ダイアログを閉じます。

補足

- ColorGATE Productionserverでは、悪意のある第三者から通信情報を保護するため、自己署名証明書を採用しています。より安全にご使用いただくには、認証局によって認証された証明書の使用をお勧めします。証明書を交換する際は、以下のフォルダーに正式な証明書を入れてください。また、これらのフォルダーは、管理者権限を持つユーザーのみが変更できるように設定してください。
 フォルダー：C:\Program Files (x86)\ColorGATE Software
 \Productionserver23\SSL

GPL Ghostscriptをインストールする

RICOH Auto Color Adjusterの [色見本合わせ] で、原稿データ (PDF) を画像データ (TIFF) に変換するために必要なアプリケーションです。ユーザーの操作は必要ありません。

Ghostscriptをインストールする

RICOH Auto Color Adjusterの [色見本合わせ] で、原稿データ (PDF) を画像データ (TIFF) に変換するために必要なアプリケーションです。ユーザーの操作は不要です。

★重要

- 色見本合わせのライセンスをお持ちの場合にインストールします。
 - gs927w64.exe インストーラをダウンロードするには、「[Ghostscript の git リポジトリ \(https://github.com/ArtifexSoftware/ghostpdl-downloads/releases/download/gs927/g927w64.exe\)](https://github.com/ArtifexSoftware/ghostpdl-downloads/releases/download/gs927/g927w64.exe)」にアクセスしてください。
 - プリンターに接続したコンピュータで、ダウンロードしたGhostscriptインストーラを実行します。
インストールウィザードが表示されます。
 - [次へ] をクリックします。



m582om0140

- ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認し、 [I Agree] をクリックします。
- インストール先はそのままにして、 [Install] をクリックします。
インストールが開始されます。
- [Show Readme] のチェックを外し、 [Finish] をクリックします。



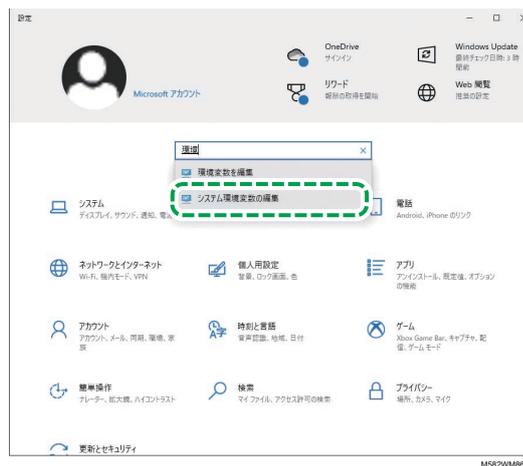
システム環境変数を指定する

3

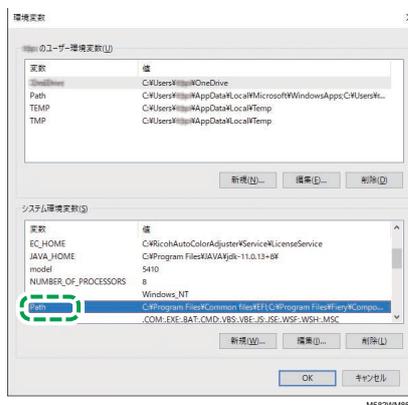
GPL Ghostscriptへのパスを Windows 10のシステム環境変数に追加します。

システム環境変数を指定するには、次の手順を実行します。

1. [スタート] → [設定] とクリックします。
2. 入力欄に環境と入力し、表示されるオプションから [システム環境変数の編集] をクリックします。



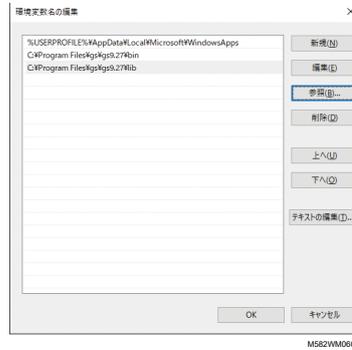
3. [環境変数] をクリックします。
4. システム環境変数の [Path] をダブルクリックします。



5. [新規] をクリックし、C:¥Program Files¥gs¥gs9.27¥binと入力します。

↓ 補足

- [新規] → [参照...] → [PC] とクリックし、フォルダーを順に選択して指定することもできます。
6. [新規] をクリックし、C:¥Program Files¥gs¥gs9.27¥libと入力します。



7. [OK] を2回クリックし、設定画面を閉じます。

4. 機器を接続する

- 本機をコンピューターに接続する
- 本機を複数台で使用する

アプリケーションのインストールが完了したら、本機をコンピューターに接続します。

本機をコンピューターに接続する

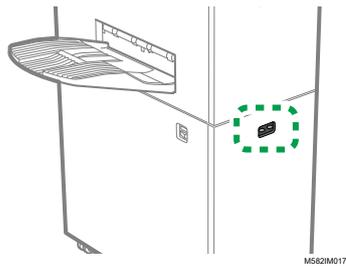
付属のUSBケーブル2本を使用して本機をコンピューターに接続します。

★重要

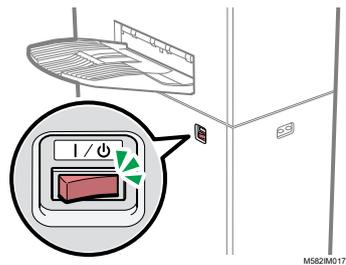
- 本機に付属のUSBケーブル以外は使用しないでください。本機の正常な動作は、付属のUSBケーブルでコンピューターに接続されている場合にのみ保証されます。
- USB延長ケーブルやハブは使用しないでください。
- コンピューターのUSB 3.0およびUSB 2.0/2.1ポートを使用します。USB 3.0ポートはUSB 2.0/2.1に対応しているため、USB 3.0ポートを2つ使用することもできます。

本機をコンピューターに接続するには、次の手順を実行します。

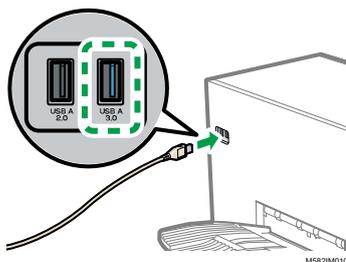
1. 本機の電源インジケータが点灯していないことを確認します。



2. 電源インジケータが点灯している場合は、本機の左側面にある電源スイッチを使用して電源を切ります。

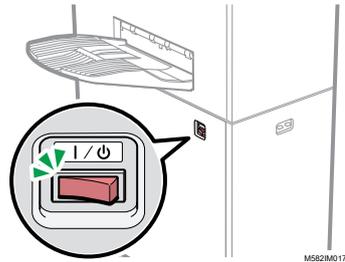


3. USBケーブルを本機の左側にあるUSB A 3.0インターフェースに接続します。



4. USBケーブルをコンピューターのUSB 3.0ポートに接続します。
5. USBケーブルを本機の左側面にあるUSB A 2.0インターフェースに接続します。

6. USBケーブルをコンピューターのUSB 2.0/2.1またはUSB 3.0ポートに接続します。
7. 本機の電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
8. 本機の左側面にある電源スイッチを使用して、本機の電源を入れます。

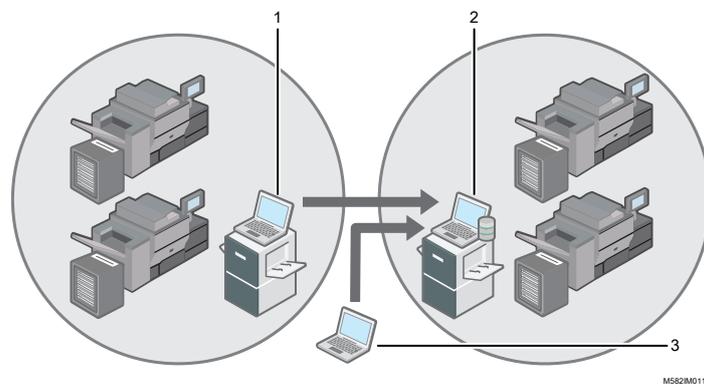


4

本機を複数台で使用する

複数の拠点に本機を設置し、設定を共有することができます。

- 本機を複数台の構成で運用するときでも、アプリケーションのセットアップやコンピューターの接続手順は同じです。
- 複数台の構成では、本機に接続されているコンピューターのうち1台をサーバー、それ以外をクライアントとして設定します。サーバーには、クライアントコンピューターでかんたん色調整を使用したときの値などが保存されます。
- クライアントコンピューターまたは管理者のコンピューターからサーバーにアクセスし、すべてのプリンターを管理できます。以下は、本機を2台で使用する時の例です。



1. クライアントコンピューター（本機にUSBで接続）
2. サーバー（本機にUSBで接続）
3. 管理者のコンピューター

↓ 補足

- サーバーのIPアドレスを正しく設定してください。設定については、[P.31](#) 「**本体設定**」を参照してください。

5. 本体設定

- 本体設定画面を表示する
- 本体設定画面の設定項目
- 本体設定を構成する

コンピューターのIPアドレス、用紙サイズ、本機で原稿を読み取るときの照明条件などを設定します。

本体設定画面を表示する

本機とコンピューターの設定はRICOH Auto Color Adjusterの本体設定画面で行います。

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の[RICOH]アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

RICOH Auto Color Adjusterの表示言語を切り替える

1. RICOH Auto Color Adjuster画面で [言語/Language:] を指定します。



m582om5901

RICOH Auto Color Adjuster画面から起動する画面の表示言語も切り替わります。

本体設定画面の設定項目

本体設定の各画面構成と設定項目について説明します。

本体設定



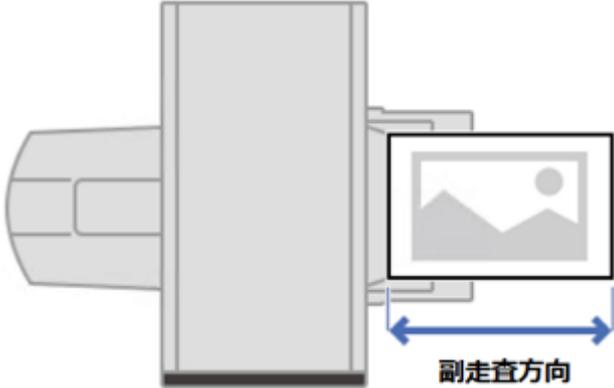
m582om0626

設定項目	説明
[機器名称]	<p>本機の名称を48文字以内で登録します。</p> <p>¥/:*?' "<> +は使用できません。</p> <p>登録名は、[初期設定]のプリンター追加/編集画面の[機器名称]のオプションとして表示されます。本機を複数台で構成している場合、機器名称はどの機器を使用しているか識別するために使用しません。</p>
[読み取りカウンター]	<p>本機で読み取った文書の総数が表示されます。</p> <p>本機がコンピューターに接続されていないか、電源が入っていない場合は表示されません。</p>
[本体個体番号]	<p>本機の識別番号が表示されます。</p>
[校正モデルファイル]	<p>本機で指定されている校正モデルファイル名が表示されます。</p> <p>本機がコンピューターに接続されていないか、電源が入っていない場合は表示されません。</p>

読み取り設定



m582om0627

設定項目	説明
[長さの単位]	<p>原稿/チャートの副走査方向の用紙の長さを指定するときの単位を [mm] または [インチ] から選択します。</p> <p>単位設定を [インチ] から [mm] に変更した場合、[かんたん色調整] および [色見本合わせ] の設定値の小数点第二位は四捨五入して表示されます。</p> <p>デフォルト： [mm]</p>
[かんたん色調整]	<p>[かんたん色調整] で読み取るチャートの用紙サイズを指定します。副走査方向の用紙の長さを210～487.7mm (8.3～19.2インチ) の範囲で入力します。</p> <div data-bbox="707 660 1321 1048" style="text-align: center;">  <p>副走査方向</p> </div> <p style="text-align: right;">m582om9550_1</p> <p>デフォルト：不定形 420 mm</p>
[色見本合わせ]	<p>[色見本合わせ] で読み取る文書の標準サイズを指定します。用紙サイズを選択するか、副走査方向の用紙の長さを210～487.7mm (8.3～19.2インチ) の範囲で入力します。</p> <p>これは、[色見本合わせ] 画面で読み取る文書ごとに変更できます。</p> <p>デフォルト：A3 - 短辺給紙</p>
[Mファクター (簡単色調整)]	<p>かんたん色調整でチャートを読み取る際の照明条件を選択します。</p> <p>色検証基準として [JC Digital 2011 Coated, Wedge] を使用するとき [M0] を選択します。 [ISO12647-8 Coated V3 F51] 、 [Verify GRACoL2013, Wedge] 、 [Simple Gray Scale, Wedge 2013] 、 [ISO12647-8 Coated V3 F51] を使用する場合は、 [M1] を指定します。</p> <p>色見本合わせは、本設定に関わらず、 [M2] で動作します。</p> <p>デフォルト： [M0]</p>

Auto Color Adjusterサーバーの設定



m582om0621

設定項目	説明
[ネットワーク設定]	<p>本製品のインストール時に指定した、サーバーとして使用しているコンピュータのIPアドレスが表示されます。</p> <p>サーバーとして使用するコンピュータのIPアドレスが変更された場合は、新しいアドレスを入力し、[保存]をクリックします。</p>
[ポート番号]	<p>製品のインストール時に指定したポート番号が表示されます。</p> <p>使用中のポート番号を変更するには、新しいポート番号を入力し、[保存]をクリックします。</p>
[Auto Color Adjusterサーバー証明書作成]	<p>SSL証明書を追加すると、Webアクセスのセキュリティが強化されます。</p> <p>クライアントコンピュータからサーバーにアクセスするときに、保護されていない通信メッセージを表示しないように指定できます。</p> <p>SSL証明書を使用するには、[作成]をクリックし、パスワードを指定します。</p>

ProductionServerの設定

ProductionServer設定

ユーザー名
admin

パスワード
●●●

Copyright © 2021-2023 Ricoh Company, Ltd. All rights reserved.

m582om0622

設定項目	説明
[ユーザー名]	ColorGATE Productionserverと連携するユーザー名が表示されます。ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーのユーザー名を変更するには、[変更]をクリックし、新しいユーザー名を指定します。 デフォルト： [Admin]
[パスワード]	ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーのパスワードを変更するには、[変更]をクリックし、新しいパスワードを指定します。パスワードは半角英数字8～64文字で入力してください。 デフォルト： [ABC]

ベーシック認証



m582om0623

設定項目	説明
[ユーザー名]	<p>ベーシック認証の [ユーザー名] が表示されます。ベーシック認証は管理コンソール画面を表示するときに使用します。</p> <p>[変更] をクリックして [ユーザー名] を変更します。</p> <p>デフォルト： [aca-user]</p>
[パスワード]	<p>ベーシック認証の [パスワード] を変更するには、 [変更] をクリックします。</p> <p>デフォルト： [user]</p>

ファームウェアアップデート

本機のファームウェアの新しいバージョンが利用可能な場合、本画面を使用します。インストール時には使用しません。



m582om0628

設定項目	説明
[本体バージョン] [現在のUSBコントローラ1バージョン] [現在のUSBコントローラ2バージョン]	本機とUSBコントローラのファームウェアバージョンが表示されません。
[ファームウェアアップデート]	新しいバージョンが利用可能なときに、本機のファームウェアをアップデートします。[参照]をクリックしてファイルを選択し、[開始]をクリックします。

バックアップ/リストア/ログ

本機で問題が発生した場合のサービス担当者への連絡、[本体設定]または[初期設定]の設定の変更、本機に接続されているコンピューターの交換、その他の操作を行う場合に、本画面を使用します。



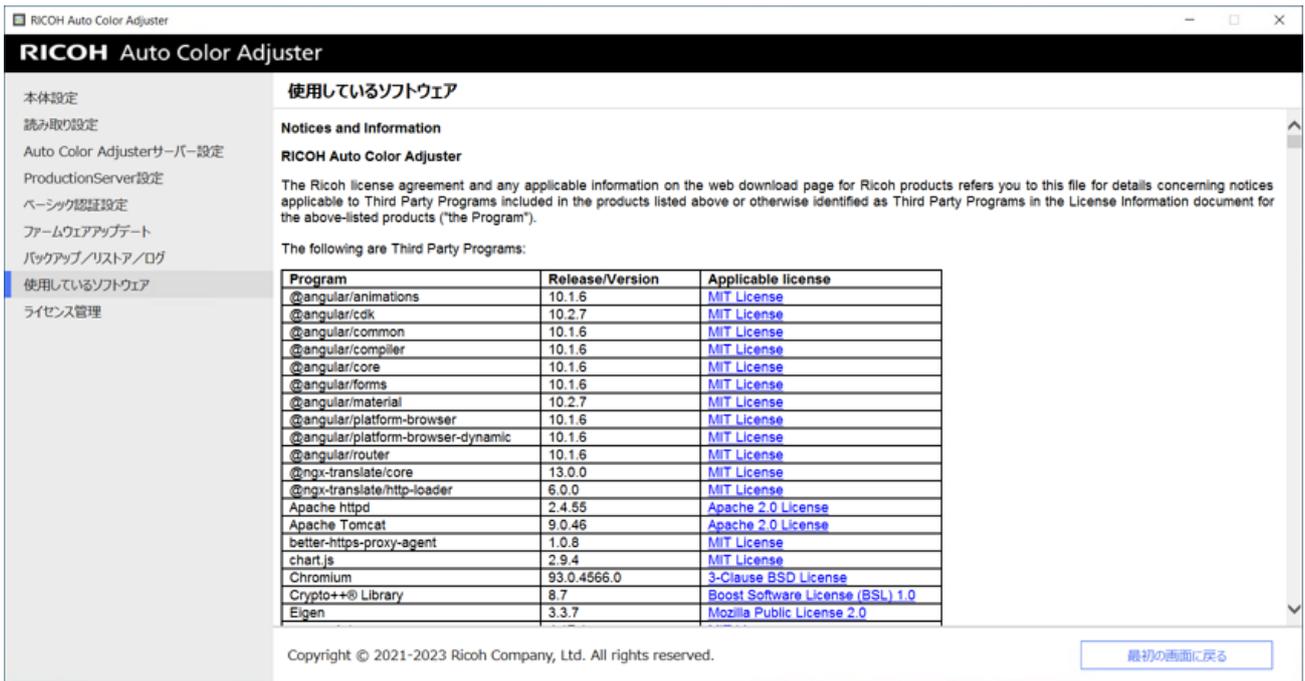
m582om0629

5

設定項目	説明
[ログの収集]	本機に問題が発生した場合など、サービス担当者に連絡する際にログの確認が必要になることがあります。[収集開始]をクリックしてログエントリーの収集を開始します。
[Appsバックアップ]	使用しているコンピューターで設定のバックアップを作成します。本機に接続しているコンピューターを交換する場合に選択します。 [バックアップ]をクリックしてデータの保存先を指定します。 本体設定や初期設定を変更する場合もバックアップを作成することをお勧めします。
[Appsリストア]	新しいコンピューターで設定情報をリストアします。本機に接続しているコンピューターを交換した後に選択します。[参照]をクリックしてバックアップファイルを選択し、[開始]をクリックします。

使用しているソフトウェア

本画面は、ソフトウェアの著作権情報を確認するときに使用します。インストール時には使用しません。



m582om0630

設定項目	説明
[使用しているソフトウェア]	RICOH Auto Color Adjusterソフトウェアの著作権およびその他の情報が表示されます。

ライセンス管理



m582om0624

設定項目	説明
[ライセンス管理システムと接続]	RICOH Auto Color Adjusterのインストールが完了した後、[接続] をクリックし、パスコードを登録します。
[最新ライセンス情報の適用]	ライセンス更新後、[適用] をクリックすると、最新のライセンス情報に更新されます。
[ライセンス情報]	ライセンスID、使用可能な機能などのライセンスの詳細が表示されます。ライセンスが登録されていない場合は、その旨を示すメッセージが表示されます。

本体設定を構成する

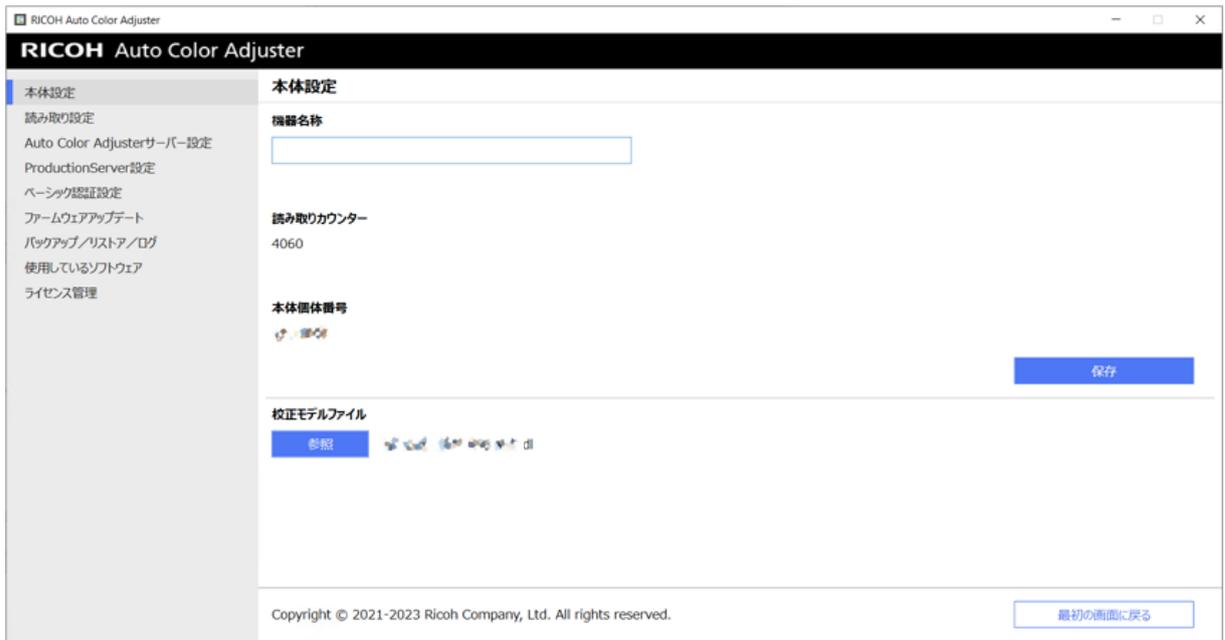
機器名、用紙の読み取り領域の長さなどを設定し、[ライセンス管理] 画面でRICOH Auto Color Adjusterをアクティベーションします。

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の [RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [本体設定] → [機器名称] にプリンター名を入力します。



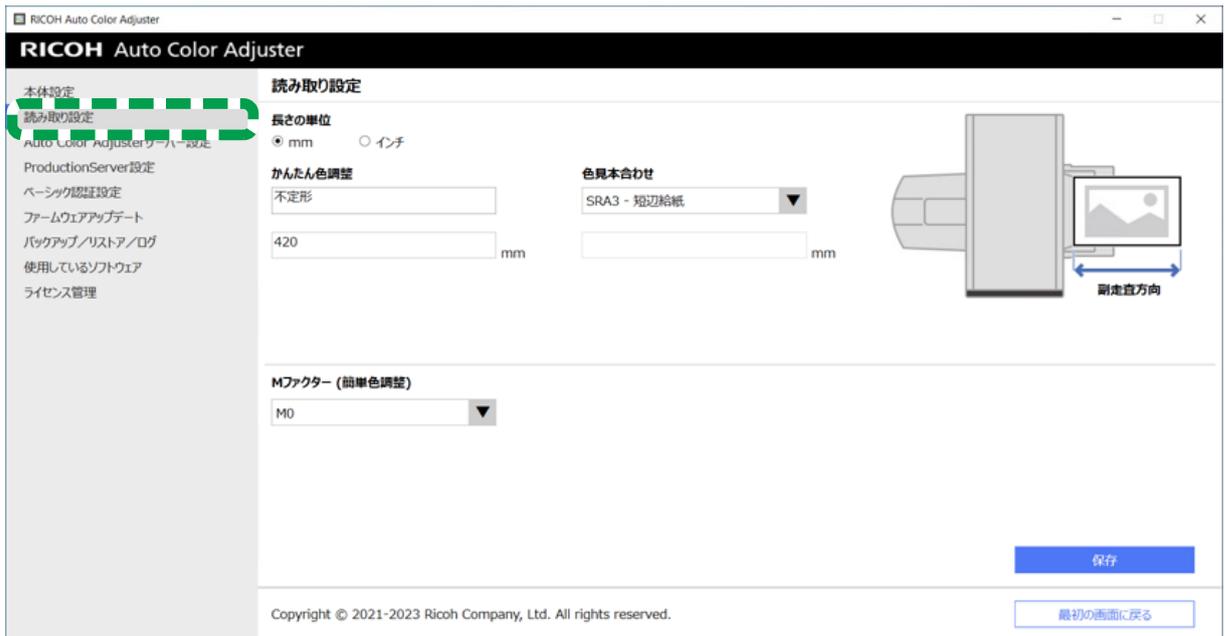
m582om0626

プリンター名は [初期設定] で使用されます。

4. [校正モデルファイル] に不一致のエラーメッセージが表示された場合は、[参照] をクリックし、正しいファイルを指定します。

↓ 補足

- 校正モデルファイルは、本機に同梱されている USB メモリーのモデルフォルダーに保存されています。USBメモリーからコンピューターにファイルをコピーし、選択してください。
5. [保存] をクリックします。
 6. [読み取り設定] をクリックし、各項目を設定します。



m582om5633

1. [長さの単位] : 原稿/チャートの副走査方向の用紙の長さを指定する単位を選択します。
 2. [かんたん色調整]、[色見本合わせ] : アプリケーションごとに読み取る用紙の長さを指定します。
 3. [Mファクター (簡単色調整)] : [かんたん色調整] でカラーチャートを読み取る際の照明条件を指定します。色検証基準として [JC Digital 2011 Coated, Wedge] を使用するとき [M0] を選択します。 [ISO12647-8 Coated V3 F51]、 [Verify GRACoL2013, Wedge]、 [Simple Gray Scale, Wedge 2013]、 [ISO12647-8 Coated V3 F51] を使用する場合は、 [M1] を指定します。
7. [保存] をクリックします。

↓ 補足

- 以下の操作は、インターネットにアクセスできる環境で行ってください。
8. [ライセンス管理] → [接続] とクリックします。



m582om5620

9. [システム名] に名前を入力します。



10. インターネットに接続するためにプロキシ設定が必要な場合は、[プロキシ設定] をします。



1. [私のIT組織がインターネットに接続するために設定したプロキシを使用します。] にチェックを付けます。
2. [プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名] を入力します。
3. [プロキシサーバーのポート] を入力し、[プロキシをテスト] をクリックします。

5

11. [コードを生成] をクリックします。
サインイン画面が表示されます。
12. RICOH Auto Color Adjusterの [メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[サインイン] をクリックします。詳しくは、P.15 「[ライセンス管理のためのクラウド接続用パスワードを登録する](#)」を参照してください。
13. 本機を複数台で運用している場合は、テナントを指定し、[ワンタイムコードの生成] をクリックします。
14. [コピー] → [閉じる] とクリックします。
ワンタイムコードがクリップボードにコピーされます。
15. コピーしたワンタイムコードを [ワンタイムコード] 入力欄に貼り付け、[送信] をクリックします。
16. 本機を複数台で使用している場合は、ステップ13～15を繰り返します。
17. 「成功」メッセージが表示されたら、[閉じる] → [変更を保存] とクリックします。
これで、インストール時に必要な本体設定が完了しました。必要に応じて以降の設定を行います。

↓ 補足

- ライセンス情報をすぐに更新するには、[本体設定] の [ライセンス管理] で [適用] をクリックします。詳しくは、P.40 「[ライセンス管理](#)」を参照してください。

ネットワーク設定を構成する

サーバーとして使用するコンピューターのIPアドレスとポート番号を変更します。この手順は、RICOH Auto Color Adjusterのインストール時に指定した情報の変更が必要な場合に実行します。

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の [RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [Auto Color Adjusterサーバー設定] をクリックし、 [IPアドレス] と [ポート番号] を入力します。



m5820m8570

4. [保存] をクリックします。

Auto Color Adjusterのサーバー証明書を作成する

SSL証明書を追加すると、Webアクセスのセキュリティが強化されます。クライアントコンピュータからサーバーにアクセスするときに、「保護されていない通信」メッセージを表示しないように指定できます。

↓ 補足

- 本設定では、自己署名証明書を作成して使用します。正式な証明書を使用するには、Apacheで提供されている手順に従って証明書をインストールしてください。
 1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の[RICOH]アイコン () からアプリケーションを起動してください。
 2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [Auto Color Adjusterサーバー設定] → [作成] とクリックし、確認画面で [OK] をクリックします。



m582om5624

4. 8～64文字の半角英数字でパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。
サーバーに証明書がインストールされました。

クライアントコンピューターに証明書をインストールする

クライアントコンピューターに証明書をインストールするには、次の手順を実行します。

1. サーバーでWebブラウザ（Chrome）を起動し、アドレスバーにIPアドレスとポート番号を入力します。



https://（IPアドレス）：（ポート番号）の形式でIPアドレスとポート番号を入力します。コロン（:）とピリオド（.）は省略しないでください。

補足

- ポート番号が「80」の場合、「:」とポート番号は省略できます。

IPアドレスとポート番号は [本体設定] の [Auto Color Adjusterサーバー設定] で確認できます。

2. アドレスバーで [保護されていない通信] をクリックし、[証明書が無効です] をクリックします。
3. [詳細] → [エクスポート] とクリックします。
4. 保存先を指定します。
5. [ファイルの種類] で [DER エンコードバイナリ形式の単一の証明書(*.der)] を指定し、[保存] をクリックします。
6. [閉じる] ボタンをクリックし、Webブラウザを閉じます。

7. 保存したファイルをクライアントのコンピューターにコピーします。
8. クライアントコンピューターでWebブラウザ（Chrome）を起動します。
9. Google Chromeで [オプション] ボタンをクリックします。



5

10. [プライバシーとセキュリティ] → [セキュリティ] → [証明書の管理] とクリックします。
11. [インポート] → [次へ] とクリックします。
12. [参照...] をクリックして証明書ファイルを選択し、[次へ] をクリックします。
13. [証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照...] をクリックします。
14. [信頼されたルート証明機関] を選択し、[OK] をクリックします。
15. [次へ] → [完了] とクリックします。

ProductionServerの設定をする

RICOH Auto Color Adjusterでは、ColorGATE Productionserverの [ユーザー名]（ログイン名）を [Admin]、[パスワード] を [ABC] に設定しています。ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーの設定で異なる [ユーザー名] / [パスワード] を指定した場合に、設定を変更します。

ProductionServerの設定をするには、次の手順を実行します。

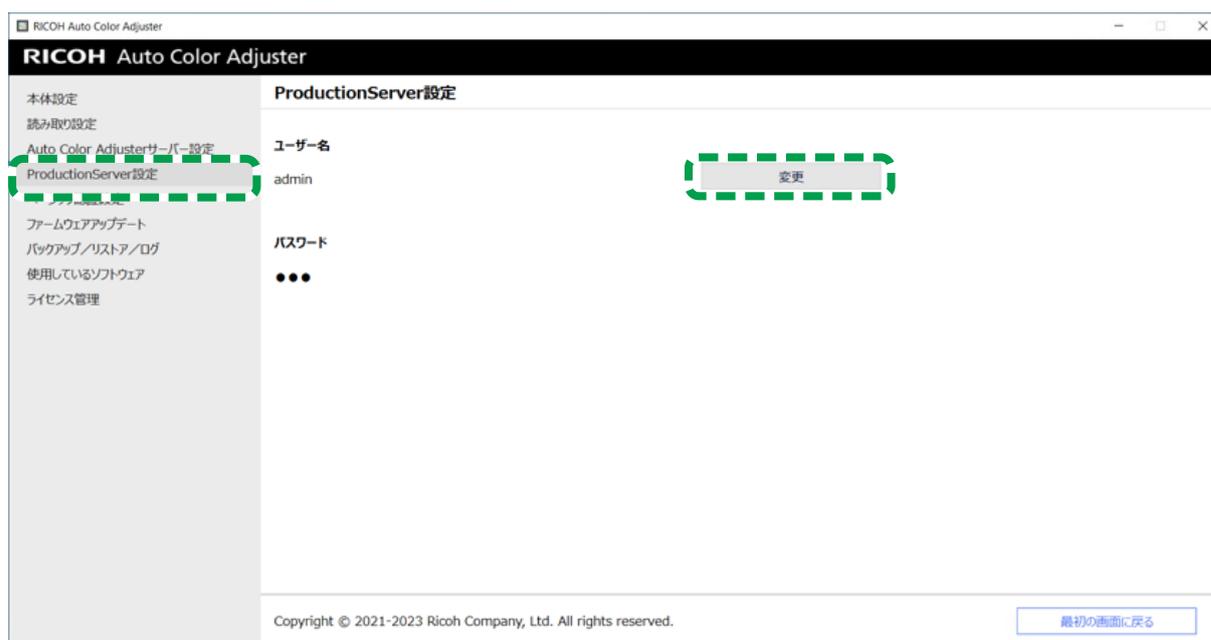
1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の [RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

5

3. [ProductionServer設定] → [変更] とクリックします。



m5820m5625

4. ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定したときに使用したログイン名を [新しいユーザー名] に入力します。
5. ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定したときに使用したパスワードを [新しいパスワード] と [新しいパスワード (確認)] に入力します。

↓ 補足

- パスワードは半角英数字8～64文字で入力してください。
6. [OK] をクリックします。

ベーシック認証を指定する

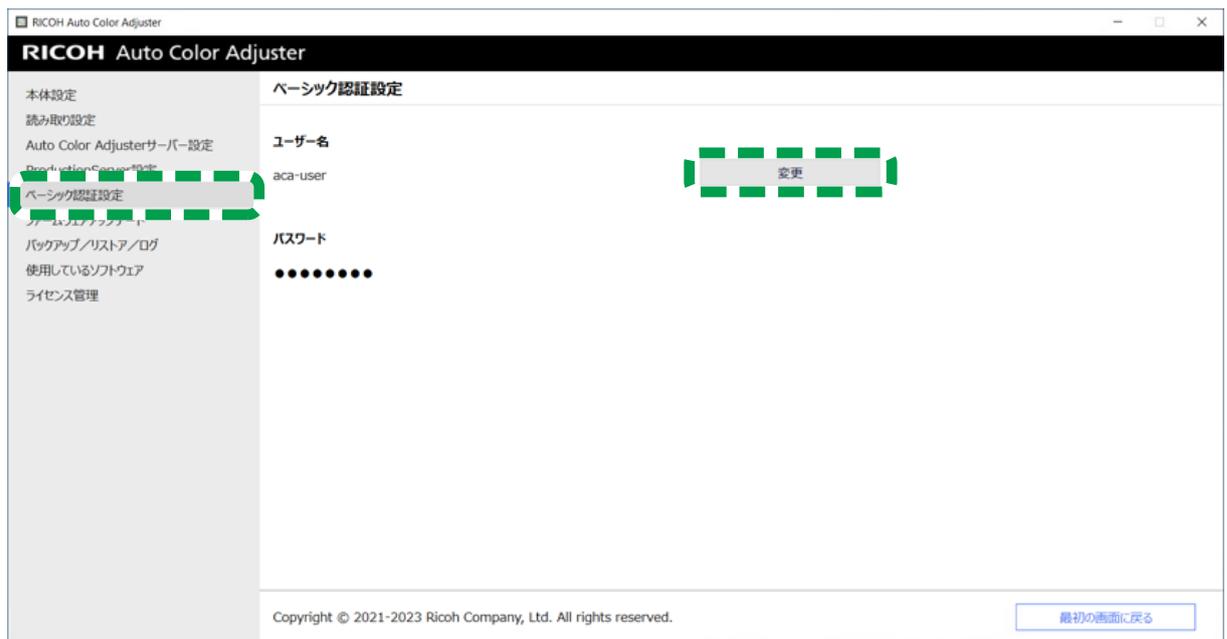
管理コンソール画面を表示するためのユーザーIDを [aca-user]、パスワードを [user] 以外に変更する場合は、設定を変更します。

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の [RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [ベーシック認証設定] → [変更] とクリックします。



m582om5626

4. [新しいユーザー名] に、新しいユーザー名を半角英数字1～64文字で入力します。
5. [新しいパスワード] と [新しいパスワード (確認)] に、新しいパスワードを半角英数字8～64文字で入力します。
6. [OK] をクリックします。

6. 初期設定

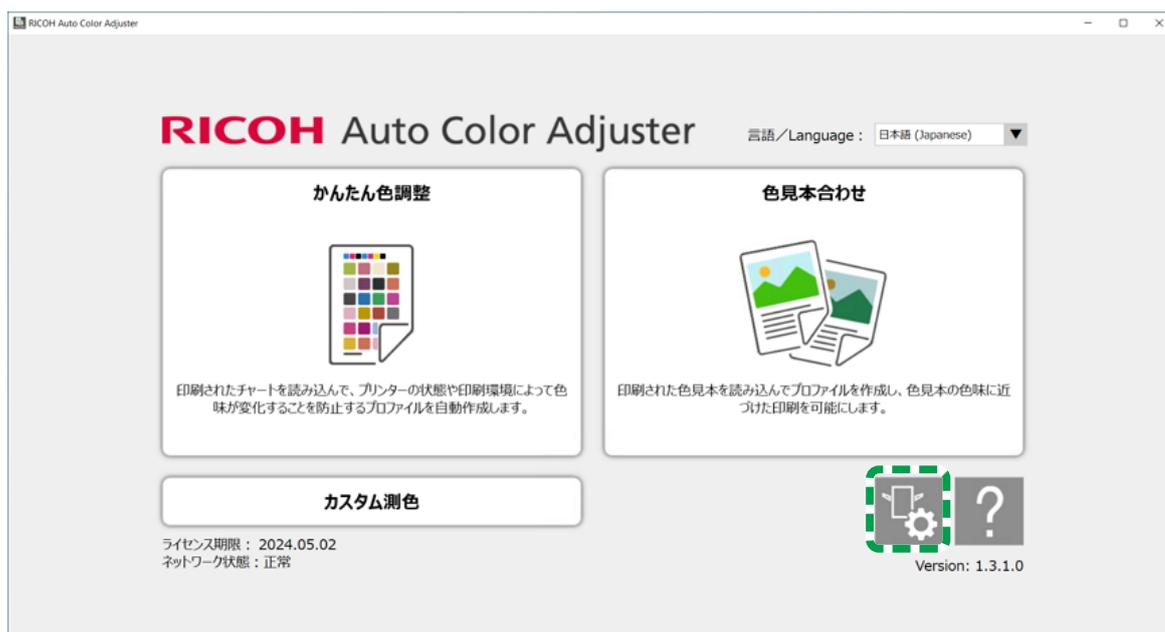
- [初期設定] 画面を表示する
- [初期設定] 画面
- 初期設定を構成する

Webブラウザで初期設定画面を表示し、[かんたん色調整] で使用するプリンターや用紙の種類などを指定します。

[初期設定] 画面を表示する

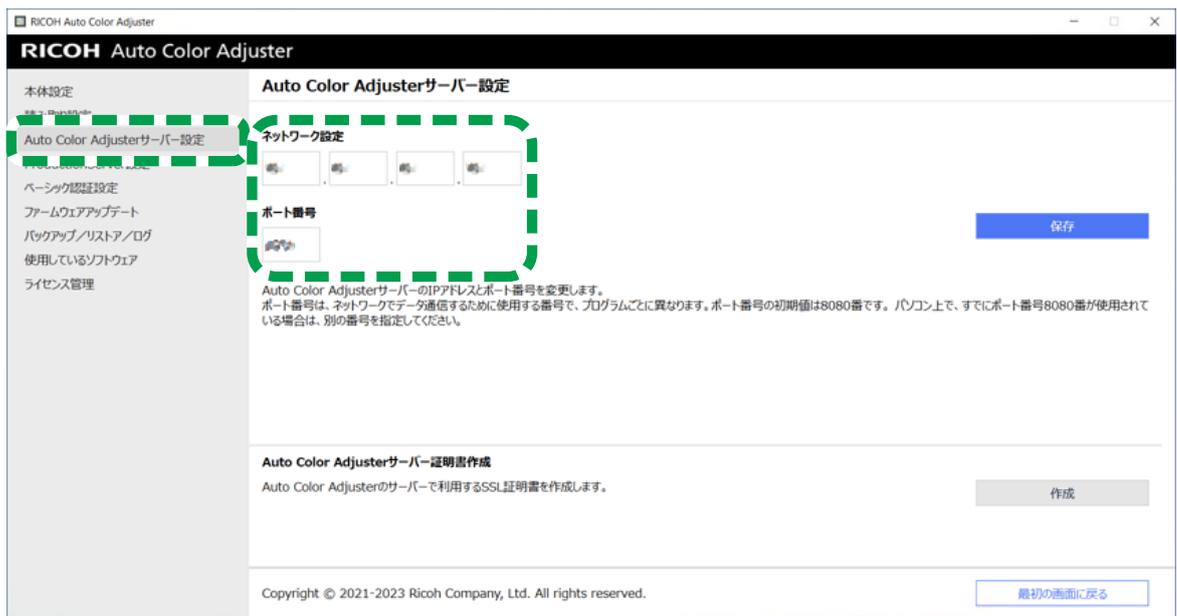
WebブラウザのアドレスバーにコンピューターのIPアドレスとポート番号を入力し、[初期設定] 画面にアクセスします。

1. USBケーブルで本機に接続されたコンピューターを起動します。
2. サーバーのIPアドレスとポート番号を確認します。
 1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の [RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
 2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [Auto Color Adjusterサーバー設定] をクリックし、IPアドレスとポート番号を確認します。



m582om8570

4. [最初の画面に戻る] をクリックし、RICOH Auto Color Adjuster画面を閉じます。
3. Webブラウザを開き、アドレスバーにIPアドレスとポート番号を入力します。



↓ 補足

- https://(IPアドレス):(ポート番号)の形式で、「.」と「:」を含めて入力してください。ポート番号が「80」の場合、「:」とポート番号の入力は省略できます。
4. ユーザー名とパスワードを入力します。

↓ 補足

- デフォルトのユーザー名とパスワードは次のとおりです。
 - ユーザー名：aca-user
 - パスワード：user

[管理コンソール] 画面が表示されます。

5. [初期設定] をクリックします。



[初期設定] 画面が表示されます。

↓ 補足

- Windows 10 Pro 64ビット版（バージョン2004以上）を実行しているネットワーク上の他のコンピューターから [初期設定] にアクセスできます。Webブラウザのアドレスバーに、手順「2」で確認したコンピューターのIPアドレスとポート番号を入力します。
- 本機を複数台で使用している場合は、管理者にサーバのIPアドレスとポート番号を問い合わせてください。

初期設定のデフォルト表示言語を変更する

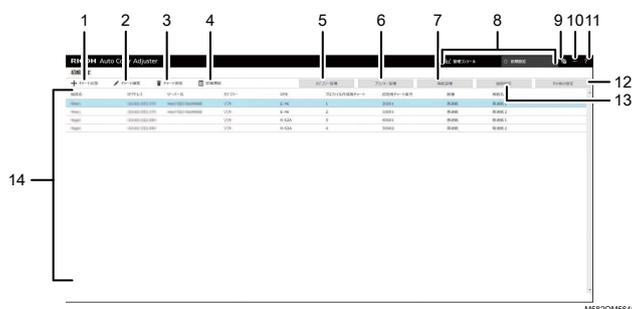
1. [初期設定] 画面を表示します。
2. [初期設定] 画面で、[言語] ボタン (🌐) をクリックし、言語を指定します。



管理コンソール画面の言語も切り替わります。

[初期設定] 画面

このセクションでは、[初期設定] の各画面の見かたと設定項目について説明します。



1. [チャート追加]

新しいチャートを登録するときをクリックします。[チャート追加/編集] 画面が表示されます。詳しくは、P.57 「[チャート追加/編集] 画面の設定項目」を参照してください。

2. [チャート編集]

登録されているチャートを変更するには、変更するチャートを選択してからクリックします。[チャート追加/編集] 画面が表示されます。詳しくは、P.57 「[チャート追加/編集] 画面の設定項目」を参照してください。

3. [チャート削除]

登録されているチャートを削除するには、削除するチャートを選択してからクリックします。

4. [詳細情報]

チャートの詳細情報を確認するには、確認するチャートを選択してからクリックします。[かんたん色調整] で使用するチャートのファイル名などを確認できます。

5. [ロケーション管理]

チャートの登録先を作成または削除するときにクリックします。[ロケーション管理] 画面が表示されます。拠点ごとにプリンターを管理する場合などには場所を作成します。詳しくは、P.58 「[ロケーション管理] 画面の見かた」を参照してください。

6. [プリンター管理]

新しいプリンターを登録するときにクリックします。登録されているプリンターを変更または削除する場合にもクリックします。[プリンター管理] 画面が表示されます。詳しくは、P.59 「[プリンター管理] 画面の画面構成」を参照してください。

7. [用紙管理]

用紙を登録するときにクリックします。[用紙管理] 画面が表示されます。[用紙追加] をクリックすると、[用紙追加] 画面が表示されます。詳しくは、P.61 「[用紙管理] 画面の画面構成」を参照してください。

8. [管理コンソール] / [初期設定]

管理コンソール画面と [初期設定] 画面を切り替えます。

9. 表示言語選択アイコン (🌐)

表示言語を変更します。日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、オランダ語、イタリア語を選択できます。

10. 使用しているソフトウェアアイコン (☰)

使用しているソフトウェアを確認します。

11. マニュアル表示アイコン (?)

マニュアルを表示するときにクリックします。

12. [その他の設定]

管理コンソール画面に表示するチャートのデフォルト値と、プロファイルの保存先を指定するときにクリックします。[その他の設定] 画面が表示されます。詳しくは、P.66 「[その他の設定] 画面の設定項目」を参照してください。

13. [閾値設定]

[かんたん色調整] の判定条件を指定するときにクリックします。[閾値設定] 画面が表示されます。しきい値は、各場所またはプリンターごとに個別に指定できません。詳しくは、P.62 「[閾値設定] 画面の設定項目」を参照してください。

14. 設定一覧

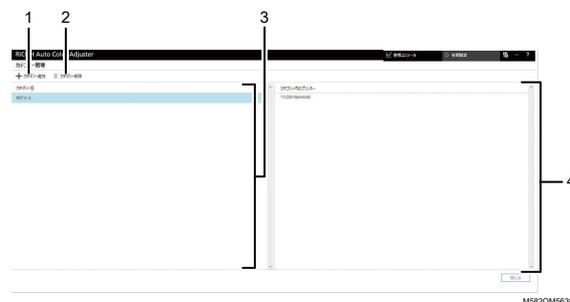
登録されているチャートの設定が一覧表示されます。

[チャート追加／編集] 画面の設定項目

設定項目	説明
[プリンター名]	プリンターを選択します。
[ICCプロファイル名 (.iccは不要)]	<p>[かんたん色調整] で作成するICCプロファイルのファイル名を最大32文字で入力します。</p> <p>¥/:*?' "<> +は使用できません。</p> <p>チャートの組み合わせごとに異なる名前を登録します。</p>
[認証確認用パッチレイアウト]	<p>色検証基準を選択します。これは、使用するチャート、CMYKソースプロファイル、判定基準（しきい値）の基準となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge] : Japan Color 2011 Coatedの色再現性は、Japan Color control strip（54色）と同色4セット平均の測定結果で確認します。 • [ISO12647-8 Coated V3 F51] : Fogra51の色再現性は、Fogra Media Wedge V3（72色）と同色4セット平均の測定結果で確認します。 • [Verify GRACoL2013, Wedge] : GRACoL2013の色再現性は、Digital Press control strip（84色）と同色4セット平均の測定結果で確認します。
[認証確認用パッチレイアウト]	<ul style="list-style-type: none"> • [Simple Gray Scale, Wedge 2013] : Simple Grayscaleの色再現性は、Digital Press control strip 2013（84色 x 4セットの平均）の測定結果で確認します。 • [ISO12647-8:2021 Coated V3 F51] : ISO 12647-8:2021 [VPC]は、Fogra Media Wedge（72色 x 4セットの平均）の測定結果で確認します。 <p>★重要</p> <ul style="list-style-type: none"> • チャートのレイアウトと色再現性の評価はリコー独自のものです。各認証機関の認証に基づく評価を保証するものではありません。
[用紙名]	<p>プリンターにセットする用紙の種類を選択します。</p> <p>[用紙管理] で [用紙名] を登録します。</p>
[プロファイル設定]	プロファイル設定画面を表示し、プロファイル変換の色分解に関する設定を行います。
[GCR率]	シアン、マゼンタ、イエローの混合色はグレーになるため、ブラックに置き換えることができます（GCR）。プロファイル作成時にGCR比率を指定します。

設定項目	説明
	<p>値を大きくすると、ブラックに置き換えられるカラーインクの量が増えます。グレーの色調が安定し、トナーの消費量が減少します。ただし、同色の印刷箇所がざらついて見えることがあります。</p> <p>デフォルト： [100%]</p>
[Kの使用開始点]	<p>シアン、マゼンタ、イエローをブラックに置き換えるタイミングを指定します。</p> <p>明るい箇所に現れる黒点を目立たなくするには、40%に指定します。一貫性のある仕上がりのためには10%または20%に指定します。0%に近いほど、明るい色もブラックに置き換えられます。データがほぼ白黒の場合は、0%に指定することをお勧めします。</p> <p>デフォルト： [30%]</p>
[Kの適用範囲]	<p>鮮やかな色域で、シアン、マゼンタ、イエローの混合色をブラックに置き換える量を指定します。大きい値を指定すると、鮮やかな色域のシアン、マゼンタ、イエローの混合色もブラックに置き換えられます。小さい値を指定すると、グレーに近い混合色のみがブラックに置き換えられます。</p> <p>80%~100%の間の値を指定することをお勧めしますが、鮮やかな色域がざらついて見える場合は、もっと小さい値を指定してください。</p> <p>デフォルト： [100%]</p>
[トナー/インク総量]	<p>CMYKの合計400%の中で、使用する最大比率を指定します。</p> <p>[かんたん色調整] で作成した ICC プロファイルで指定するトナーまたはインクの量が制限されます。</p> <p>デフォルト： [300%]</p>
[プロファイルサイズ]	<p>[かんたん色調整] で作成したICCプロファイルのファイルサイズを選択します。ファイルサイズが大きいほど正確な色変換ができますが、処理に時間がかかるようになります。</p> <p>デフォルト： [大]</p>

[ロケーション管理] 画面の見かた



1. [ロケーション追加]

新しいロケーションを作成するときにクリックします。[ロケーション追加] 画面が表示されます。

最大8つのロケーションを登録できます。

ロケーション名は最大48文字まで入力できます。

¥/:*?' "<>|+は使用できません。

登録名は [プリンター追加/編集] 画面の [ロケーション] にオプションとして表示されます。

2. [ロケーション削除]

登録されたロケーションを削除するには、削除するロケーションを選択してからクリックします。プリンターが登録されているロケーションは削除できません。

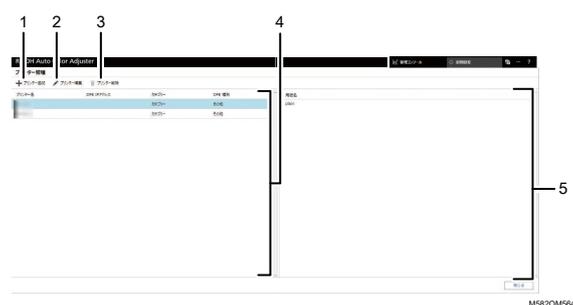
3. [ロケーション名]

登録されているロケーションが一覧表示されます。

4. [ロケーション内のプリンター]

選択したロケーションに登録されているプリンターが一覧表示されます。

[プリンター管理] 画面の画面構成



1. [プリンター追加]

新しいプリンターを登録するときにクリックします。 [プリンター追加/編集] 画面が表示されます。詳しくは、P.60 「 [プリンター追加/編集] 画面の設定項目」を参照してください。

2. [プリンター編集]

プリンターの登録情報を変更するには、一覧でプリンターを選択してからクリックします。 [プリンター追加/編集] 画面が表示されます。詳しくは、P.60 「 [プリンター追加/編集] 画面の設定項目」を参照してください。

3. [プリンター削除]

プリンターを削除するには、一覧でプリンターを選択してからクリックします。

4. [プリンター名]

登録されているプリンター名が一覧表示されます。

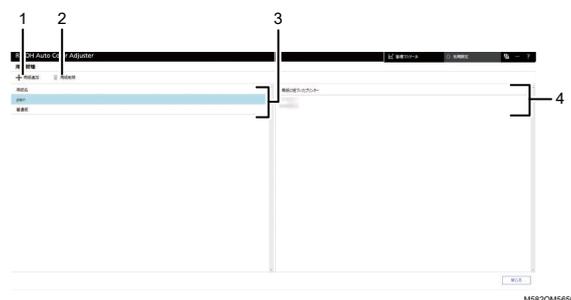
5. [用紙名]

選択したプリンターで登録された用紙の名前は一覧に表示されます。

[プリンター追加/編集] 画面の設定項目

設定項目	説明
[プリンター名]	プリンター名を最大48文字で登録します。 ¥/:*?' "<> +は使用できません。
[ロケーション]	チャートを登録するロケーション名を選択します。 [ロケーション管理] でロケーションを登録します。
[機器名称]	測色に使用する機器を選択します。 [機器名称] は [本体設定] で登録します。
[DFE 種別]	使用しているDFEを選択します。使用しているDFEに一致するオプションがない場合は、[その他]を選択します。 [その他]を選択すると、それ以降の項目は表示されません。 TotalFlow プリントサーバーを選択すると、[DFE サーバー名] は表示されません。
[DFE IPアドレス]	DFEのIPアドレスを入力します。
[プリンターメーカー]	プリンターの製造元が [RICOH] かどうかを指定します。
[DFE サーバー名]	Fieryコントローラーのサーバー名を2~15文字で入力します。 ¥/:*?"<> +,@[]'~;=は使用できません。 サーバー名は正しく入力してください。1文字でも間違っていると、[かんたん色調整] でプロファイルの自動登録は失敗します。
[DFEパスワード]	使用しているDFEのパスワードを最大64文字で入力します。 ¥/:*?"<> +,@[]'~;=は使用できません。

[用紙管理] 画面の画面構成



1. [用紙追加]

新しい用紙を登録するときにクリックします。[用紙追加] 画面が表示されます。詳しくは、P.61 「[用紙追加] 画面の設定項目」を参照してください。

2. [用紙削除]

用紙を削除するには、一覧で用紙を選択してからクリックします。

3. [用紙名]

登録されている用紙名が一覧表示されます。

4. [用紙に紐づいたプリンター]

用紙に紐付けられているプリンターが一覧表示されます。

[用紙追加] 画面の設定項目

設定項目	説明
[用紙名]	<p>用紙名を最大200文字で入力します。</p> <p>¥/:*?' "<> +は使用できません。</p> <p>[用紙名] は1,024件まで登録できます。</p> <p>登録名は [チャート追加/編集] 画面の [用紙名] にオプションとして表示されます。</p>
[キャリブレーションセット名]	<p>使用しているDFEがFieryの場合、キャリブレーションセット名を最大70字で入力します。</p> <p>¥/:*?' "<> +,@[]'~;=は使用できません。</p> <p>キャリブレーションセットの名前は正しく入力してください。正しく入力していない場合、[かんたん色調整] でプロファイルの自動登録に失敗します。</p> <p>DFEにプリセットされている以下のキャリブレーションセットを使用してください。オフラインの測色器があれば、必要に応じてキャリブレーションセットを作成して使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 普通紙 • コート紙：グロス • コート紙：マット <p>同一のプリンターに異なる用紙の組み合わせを登録するときには、同一のキャリブレーションセットを登録することも、異なるキャリブレーションセット名で登録することもできます。</p>
[紙種]	<p>使用する用紙の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [グロスコート紙]：コート紙またはアート紙を使用するときに選択します。 • [マットコート紙]：マット紙を使用するときに選択します。 • [普通紙]：上質紙を使用するときに選択します。

[閾値設定] 画面の設定項目



[事前判定基準値の設定: 厳しい (0.0) <—> 優しい (99.9)]

[かんたん色調整] 機能で色調整するときの判定基準を指定します。

設定項目	概要
[警告：基準値超過の場合でも、動作を継続] [ページ内偏差]	本機で読み取った1枚のチャート内の、色差の許容値 ($\Delta E00$) を0.0～99.9の範囲で指定します。指定値が小さいほど判定は厳しくなり、色調整精度は高くなります。 測定結果が指定された値を超えると、確認メッセージが表示されません。 デフォルト： [4.0]
[警告：基準値超過の場合でも、動作を継続] [ページ間偏差]	本機で読み取った2枚のチャート間で、色差の許容値 ($\Delta E00$) を0.0～99.9の範囲で指定します。指定値が小さいほど判定は厳しくなり、色調整精度は高くなります。 デフォルト： [1.5]
[エラー：基準値超過の場合、動作を停止] [ページ内偏差]	本機で読み取った1枚のチャート内の、色差の許容値 ($\Delta E00$) を0.0～99.9の範囲で指定します。[警告：基準値超過の場合でも、動作を継続] の [ページ内偏差] フィールドの値以上に設定します。指定値が小さいほど判定は厳しくなり、色調整精度は高くなります。 測定値が指定値より大きい場合、プリンターで色を調整するように指示するメッセージが表示されます。また、プロファイルの作成もできなくなります。 デフォルト： [6.0]
[エラー：基準値超過の場合、動作を停止] [ページ間偏差]	本機で読み取った1枚のチャート内の、色差の許容値 ($\Delta E00$) を0.0～99.9の範囲で指定します。[警告：基準値超過の場合でも、動作を継続] の [ページ間偏差] フィールドの値以上に設定します。指定値が小さいほど判定は厳しくなり、色調整精度は高くなります。 測定値が指定値より大きい場合、プリンターで色を調整するように指示するメッセージが表示されます。また、プロファイルの作成もできなくなります。 デフォルト： [2.5]

[事前判定基準値 (警告/エラー) の設定: 優しい (0.0) <—> 厳しい (5.0)]

CMYKカラーのそれぞれの最大濃度の基準値を指定します。

設定項目	概要
[警告：基準値未満の場合でも、動作を継続] [C] [M] [Y] [K]	CMYKの最大濃度の基準値を0.0～5.0の範囲で指定します。指定値が大きいほど、必要な濃度は高くなり、色調整精度は高くなります。 測定結果が指定された値を下回ると、確認メッセージが表示されません。 デフォルト: • [C] : [1.50] • [M] : [1.40] • [Y] : [0.90] • [K] : [1.65]
[エラー：基準値未満の場合、動作を停止] [C] [M] [Y] [K]	最大濃度の基準値を0.0～5.0の範囲で指定します。標準値は、[エラー：基準値超過の場合、動作を停止]で指定された値よりも小さくしてください。 測定値が指定値より小さい場合、プリンターで色を調整するように指示するメッセージが表示されます。また、プロファイルの作成もできなくなります。 デフォルト: • [C] : [1.25] • [M] : [1.15] • [Y] : [0.80] • [K] : [1.45]

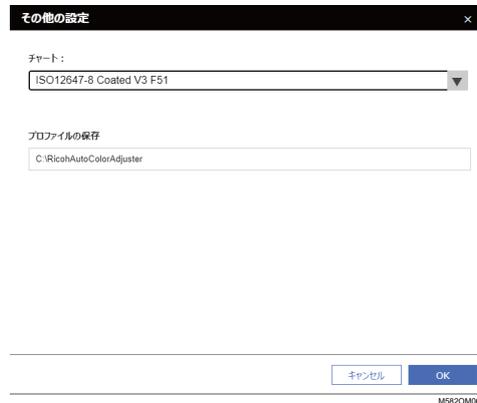
[色判定基準値の設定: 厳しい (0.0) <—> 優しい (99.9)]

[かんたん色調整] 機能で色調整を実行した後に、判定基準を指定します。

設定項目	概要
[エラー：基準値以上の場合、動作を停止] [Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge] [最大色差 (ΔE00)] [平均色差 (ΔE00)]	次の設定のΔE00のしきい値を0.0～99.9の範囲で指定します。 • [最大色差 (ΔE00)] • [平均色差 (ΔE00)] 指定した値は、次の結果とともにグラフ上に点線で表示されます。 • [最大色差 (ΔE00)] • [平均色差 (ΔE00)] デフォルト: • [最大色差 (ΔE00)] : [6.5] • [平均色差 (ΔE00)] : [2.5]
[エラー：基準値以上の場合、動作を停止] [ISO12647-8 Coated V3 F51] [95パーセントイルの色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] [平均色差<境界パッチ除く> (ΔE00)]	次の設定のΔE00のしきい値を0.0～99.9の範囲で指定します。 • [95パーセントイルの色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] • [平均色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] 指定した値は、次の結果とともにグラフ上に点線で表示されます。 • [95パーセントイルの色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] • [平均色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] デフォルト: • [95パーセントイルの色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] : [6.5] • [平均色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] : [2.5]
[エラー：基準値以上の場合、動作を停止] [Verify GRACoL2013, Wedge]	次の設定のΔE00のしきい値を0.0～99.9の範囲で指定します。 • [最大色差 (ΔE00)] • [平均色差 (ΔE00)] 指定した値は、次の結果とともにグラフ上に点線で表示されます。

設定項目	概要
[最大色差 (ΔE00)] [平均色差 (ΔE00)]	<ul style="list-style-type: none"> • [最大色差 (ΔE00)] • [平均色差 (ΔE00)] デフォルト: <ul style="list-style-type: none"> • [最大色差 (ΔE00)] : [5.0] • [平均色差 (ΔE00)] : [2.5]
[エラー：基準値以上の場合、動作を停止] [Simple Gray Scale, Wedge 2013] [加重CMYスケール最大値 (wΔCh)] [加重CMYスケール平均値 (wΔCh)] [加重CMYスケール最大値 (wΔL)] [加重CMYスケール平均値 (wΔL)] [加重Kスケール最大値 (wΔL)] [加重Kスケール平均値 (wΔL)]	wΔChとwΔLのしきい値を0.0から99.9の範囲で指定します。 指定した値は、次の結果とともにグラフ上に点線で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [加重CMYスケール最大値 (wΔCh)] • [加重CMYスケール平均値 (wΔCh)] • [加重CMYスケール最大値 (wΔL)] • [加重CMYスケール平均値 (wΔL)] • [加重Kスケール最大値 (wΔL)] • [加重Kスケール平均値 (wΔL)] デフォルト: <ul style="list-style-type: none"> • [加重CMYスケール最大値 (wΔCh)] : [3.0] • [加重CMYスケール平均値 (wΔCh)] : [1.5] • [加重CMYスケール最大値 (wΔL)] : [3.0] • [加重CMYスケール平均値 (wΔL)] : [1.5] • [加重Kスケール最大値 (wΔL)] : [3.0] • [加重Kスケール平均値 (wΔL)] : [1.5]
[エラー：基準値以上の場合、動作を停止] [ISO12647-8:2021 Coated V3 F51] [平均色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] [95パーセントイルの色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] [コンポジットグレー平均色差 (ΔCh)] [コンポジットグレー最大色差 (ΔCh)] [紙白色差 (ΔE00)]	ΔE00とΔChのしきい値を0.0から99.9の範囲で指定します。 指定した値は、次の結果とともにグラフ上に点線で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [平均色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] • [95パーセントイルの色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] • [コンポジットグレー平均色差 (ΔCh)] • [コンポジットグレー最大色差 (ΔCh)] • [紙白色差 (ΔE00)] デフォルト: <ul style="list-style-type: none"> • [平均色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] : [2.5] • [95パーセントイルの色差<境界パッチ除く> (ΔE00)] : [5.0] • [コンポジットグレー平均色差 (ΔCh)] : [2.5] • [コンポジットグレー最大色差 (ΔCh)] : [4.0] • [紙白色差 (ΔE00)] : [3.0]

[その他の設定] 画面の設定項目



設定項目	説明
[チャート:]	管理コンソール画面に表示するチャートのデフォルト値を選択します。
[プロファイルの保存]	<p>[プリンター追加/編集] 画面の [DFE 種別] で [その他] を指定した場合のプロファイルの保存先を指定します。</p> <p>¥/:*?"<> を使用することはできません。</p> <p>デフォルト：C:¥RicohAutoColorAdjuster</p>

初期設定を構成する

用紙の種類、色の判定基準、使用するプリンターなどを登録します。また、チャートを印刷するためのPDFファイルをDFEに登録します。

★重要

- 初期設定を変更した場合は、設定のバックアップを作成することをお勧めします。
- バックアップ方法については、[P. 79 「RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成する」](#)を参照してください。

[初期設定] 画面を表示する

↓ 補足

- 事前に本体設定で本機とコンピューターをセットアップしてください。詳しくは、P.31「[本体設定画面を表示する](#)」を参照してください。
- DFEにプリセットされている以下のキャリブレーションセットを使用してください。オフラインの測色器があれば、必要に応じてキャリブレーションセットを作成して使用できます。

- 普通紙
- コート紙：グロス
- コート紙：マット

1. Webブラウザを開き、アドレスバーにIPアドレスとポート番号を入力します。



↓ 補足

- https://(IPアドレス):(ポート番号)の形式で、「.」と「:」を含めて入力してください。ポート番号が「80」の場合、「:」とポート番号の入力は省略できます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。

↓ 補足

- デフォルトのユーザー名とパスワードは次のとおりです。
 - ユーザー名：aca-user
 - パスワード：user

[管理コンソール] 画面が表示されます。

3. [初期設定] をクリックします。



[初期設定] 画面が表示されます。

[初期設定] の基本的な設定をする

[ロケーション管理]、[プリンター管理]、[用紙管理]を設定します。また、[閾値設定]の[かんたん色調整]の判定基準も必要に応じて修正します。

1. [初期設定]画面で、[ロケーション管理]をクリックします。



2. [ロケーション追加] をクリックします。
3. プリンターを登録するロケーションの名前を入力し、[OK] をクリックします。

↓ 補足

- ロケーション名は最大48文字まで入力できます。
 - ¥/:*?' "<>|+は使用できません。
 - [OK] をクリックしても [ロケーション管理] 画面が表示されない場合は、文字が正しく入力されているか、文字数が制限を超えていないかどうかを確認してください。
 - 手順2と3を繰り返して、複数のロケーションを登録します。プリンターを拠点ごとに管理する場合などに追加します。
4. [OK] をクリックします。
 5. [プリンター管理] → [プリンター追加] とクリックします。
 6. [プリンター名]、[DFE 種別]、その他の設定を指定します。

↓ 補足

- 別のプリンターを追加するには、ステップ5と6を繰り返します。
 - 詳しくは、P.60 「[\[プリンター追加/編集\] 画面の設定項目](#)」を参照してください。
7. [OK] をクリックします。
 8. [用紙追加] をクリックします。
 9. [用紙名]、[キャリブレーションセット名]、[紙種] を指定し、[OK] をクリックします。

↓ 補足

- 手順8と9を繰り返して、複数の用紙の種類を登録します。
 - 詳しくは、P.61 「[\[用紙追加\] 画面の設定項目](#)」を参照してください。
10. [OK] をクリックします。
 11. [閾値設定] をクリックします。
 12. [かんたん色調整] の判定条件を指定し、[OK] をクリックします。

↓ 補足

- 詳しくは、P.62 「[\[閾値設定\] 画面の設定項目](#)」を参照してください。
- 手順「6」で [DFE 種別] の [その他] を選択したときは、[初期設定] 画面の [その他の設定] をクリックし、[プロファイルの保存] で設定を確認してください。

初期設定の基本的な設定が完了しました。次にチャートを登録します。

[初期設定] にチャートを登録する

1. [初期設定] 画面で、[チャート追加] をクリックします。



2. [プリンター名] や [用紙名] などのチャート関連情報を指定します。

↓ 補足

- 詳しくは、P.57 「[チャート追加/編集] 画面の設定項目」を参照してください。
- 1台のプリンターに複数の用紙種類を使用する場合は、プリンターをもう1台追加し、異なる [用紙名] で登録します。
- 次に、チャートのPDFファイルをDFEに登録します。

6

チャート用PDFファイルをDFEに登録する

[かんたん色調整] で使用するチャートを印刷するためのPDFファイルをジョブとしてDFEに登録します。

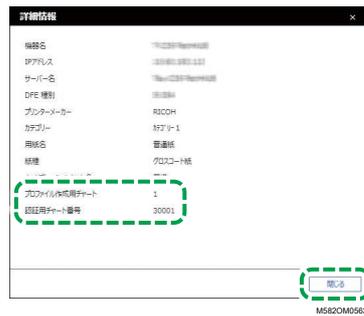
⚠ 注意

-  **USBフラッシュメモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤ってUSBフラッシュメモリーを飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。**

1. [初期設定] 画面でチャートを選択し、[詳細情報] をクリックします。



2. プリンターに複数の用紙種類を登録している場合は、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを確認し、正しい用紙を選択します。
3. チャート番号を確認し、[閉じる] をクリックします。



- [プロファイル作成用チャート] : 色調整で使します。
- [認証用チャート番号] : 色検証に使します。

チャート番号は、チャートごとに割り当てられています。

4. C:\¥RicohAutoColorAdjuster¥ReferenceChart¥profile_A3フォルダーを開きます。

↓ 補足

- カラーチャートを101個以上登録しているときは、同梱のUSBフラッシュメモリ内のqcaフォルダーのchartPDF_Profile.zipを解凍します。

5. 手順「3」で確認した [プロファイル作成用チャート] の PDF ファイルをジョブとして登録します。

6. C:\¥RICOHAutoColorAdjuster¥ReferenceChartフォルダーを開き、使用する色検証基準のフォルダーを開きます。

- analysis_Fogra_A3 : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [ISO12647-8 Coated V3 F51] を選択している場合
- analysis_GRACoL_A3 : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [Verify GRACoL2013, Wedge] を選択している場合
- analysis_JC_A3 : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge] を選択している場合
- analysis_Fogra_2021_A3 : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [ISO12647-8:2021 Coated V3 F51] を指定している場合
- analysis_SimpleGrayScale_A3 : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [Simple Gray Scale, Wedge 2013] を指定している場合

カラーチャートを101個以上登録しているときは、同梱のUSBフラッシュメモリ内のqcaフォルダーから、次のファイルのいずれかを解凍します。

- chartPDF_Fogra.zip : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [ISO12647-8 Coated V3 F51] を選択している場合
- chartPDF_GRACoL.zip : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [Verify GRACoL2013, Wedge] を選択している場合
- chartPDF_JC.zip : [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] で [Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge] を選択している場合

7. 手順「3」で確認した [認証用チャート番号] の PDF ファイルをジョブとして登録します。

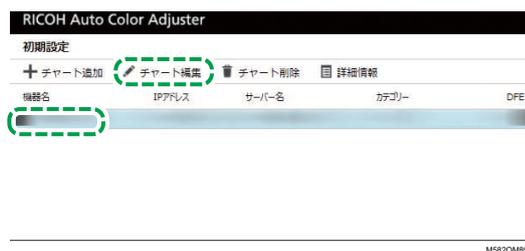
↓ 補足

- 登録手順については、DFEの使用説明書を参照してください。

[初期設定] で登録したチャートを編集する

[初期設定] で登録したチャートを編集するには、次の手順を実行します。

- [初期設定] 画面でチャートを選択し、[チャート編集] をクリックします。

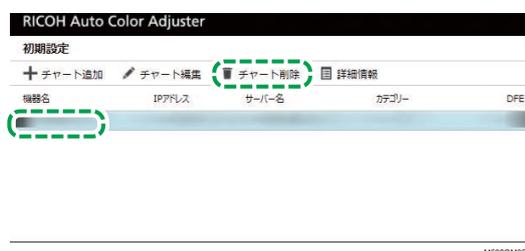


- プリンターに複数の用紙種類を登録している場合は、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを確認し、正しい用紙を選択します。
- チャート情報を変更します。
- [OK] をクリックします。
- [認証確認用パッチレイアウト] を変更したときは、チャートのPDFファイルをDFEに登録します。詳しくは、P.69 「チャート用PDFファイルをDFEに登録する」を参照してください。

[初期設定] で登録したチャートを削除する

[初期設定] で登録したチャートを削除するには、次の手順を実行します。

- [初期設定] 画面でチャートを選択し、[チャート削除] をクリックします。



- プリンターに複数の用紙種類を登録している場合は、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを確認し、正しい用紙を選択します。
- [OK] をクリックします。

7. 設定時のトラブルシューティング

- トラブルシューティング (本体設定)
- トラブルシューティング (初期設定)

このセクションでは、本体設定または [初期設定] を操作できない場合、またはメッセージが表示された場合の対処方法について説明します。

トラブルシューティング (本体設定)

本体設定を開始できないとき

このセクションでは、メニューの [本体設定] ボタン () をクリックしてもコンピューター設定画面が表示されず、メッセージも表示されない場合の対処について説明します。

原因	対処方法
本体設定アプリケーションが破損しているか、削除された。	<ul style="list-style-type: none">• メニュー画面を閉じ、RICOH Auto Color Adjusterを再起動します。• Windowsを再起動します。
本機とコンピューター間の通信でエラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none">• 本機の電源が切れている場合は、電源を入れてください。本機の電源が入っている場合は、電源を入れ直してください。• 本機とコンピューターが2本のUSBケーブルで接続されていることを確認してください。

問題が解決しない場合は、すぐにサービス担当者に連絡してください。

本体設定にメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	対処方法と参照先
「エラー」 「Failed to acquire data.」 「Failed to acquire data from server, please restart the apps. Call service if this error message is displayed repeatedly.」	サーバーとの通信に失敗した。	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターがネットワークに接続されていることを確認してください。• サーバーのIPアドレスとポート番号を正しく指定し、RICOH Auto Color Adjusterを再起動してください。詳しくは、P.44 「ネットワーク設定を構成する」を参照してください。• サーバーとして使用するコンピューターを交換する場合は、指示に従ってアプリケーションのインストールや設定を行ってください。詳しくは、P.83 「コンピューター入れ替え作業の流れ」を参照してください。
「警告」 「Acquisition of display language has failed, so the application will start with English as the user interface language.」	<ul style="list-style-type: none">• RICOH Auto Color Adjusterを最初に起動したとき、Windowsで英語、日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、オランダ語、イタリア語以外の言語が指定されているか、言語設定情報を取得できない。	日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、オランダ語、イタリア語を使用するには、RICOH Auto Color Adjuster 画面で [言語 / Language :] を選択します。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
	<ul style="list-style-type: none"> RICOH Auto Color Adjusterを最後に使用したときの言語設定情報を取得できない。 	
「アプリケーションの起動に失敗しました。再実行してください。このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」	コンピューターがサーバーに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターとサーバーの両方がネットワークに接続されていることを確認してください。 コンピューターとサーバーのWindowsを再起動してください。 <p>それでもエラーが表示される場合は、サービス担当者にご連絡ください。</p>
「アプリケーションの起動に失敗しました。」 「サーバーとの通信に失敗しました。ネットワークに問題がないか確認してください。」	データベースでエラーが発生したか、コンピューターがサーバーに接続できない。	

トラブルシューティング（初期設定）

初期設定画面が表示されないとき

状態	原因	対処方法
WebブラウザにIPアドレスとポート番号を入力すると、404エラーが表示され、[初期設定]画面が表示されないか、画面に何も表示されず、操作ができない。	入力されたIPアドレスとポート番号が正しくない。	正しいIPアドレスとポート番号を入力してください。ポート番号はIPアドレスの後に「:」を入力してから入力してください。 IPアドレスとポート番号は、メニュー画面の[本体設定]ボタン  をクリックし、本体設定の[Auto Color Adjusterサーバー設定]で確認できます。クライアントコンピューターを使用している場合は、管理者に正しいIPアドレスとポート番号を問い合わせてください。
	Webブラウザに古いキャッシュが残っている。	管理コンソール画面で、[Shift] キーを押しながら[F5] キーを押してください。Webブラウザのキャッシュがクリアされ、画面がリロードされます。
	本機を複数台で使用しているときに、クライアントコンピューターからサーバーにアクセスできない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターとサーバーの両方がネットワークに接続されていることを確認してください。 コンピューターとサーバーのWindowsを再起動してください。 <p>それでもエラーが表示される場合は、サービス担当者にご連絡ください。</p>

[初期設定] でメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	対処方法と参照先
「入力に誤りがあります。」	<p>次のいずれかが入力されていないか、正しく入力されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ロケーション名] • [プリンター名] • [ICCプロファイル名] • [用紙名] 	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> - [ロケーション追加] 画面の [ロケーション名] : 最大48文字で入力します。 - [チャート追加/編集] 画面の [プリンター名] : 最大48文字で入力します。 - [チャート追加/編集] 画面の [ICCプロファイル名] : 最大32文字で入力します。 - [用紙追加] 画面の [用紙名] : 最大200文字で入力します。 • 以下の文字は使用しないでください: ¥ / : * ? ' " < > +。

8. RICOH Auto Color Adjusterをアップデートする

- RICOH Auto Color Adjusterバージョンを更新する
- RICOH Auto Color Adjusterのバックアップを作成してリストアする

この章では、RICOH Auto Color Adjusterバージョンをアップデートする方法を説明します。RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成し、バックアップから設定をリストアすることもできます。

RICOH Auto Color Adjusterバージョンを更新する

RICOH Auto Color Adjusterの新しいバージョンが利用可能になったら、コンピューターにインストールされているRICOH Auto Color Adjusterをアップデートします。

★重要

- アップデートには、設定のバックアップファイルが必要です。アップデートを実行する前にバックアップを作成してください。
 1. 設定のバックアップを作成します。詳しくは、[P. 79 「RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成する」](#)を参照してください。
 2. メーカーのWebサイトからインストーラーをダウンロードし、本機と接続するコンピューターに保存します。
 3. 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピューターにログインし、すべてのアプリケーションを終了します。
 4. ダウンロードしたAutoColorAdjusterSetup_Verxxx.msiを実行します。

↓補足

- XXXはファイルがリリースされた日付によって異なります。インストールウィザードが表示されます。
5. [次へ] をクリックします。



m582om0603

6. [次へ] をクリックします。
7. [インストール] をクリックします。
インストールが開始されます。
8. コンピューターを再起動するかどうかの確認画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
9. 使用中のファイルの確認画面が表示された場合は、[アプリケーションを終了してから再起動する] を指定し、[OK] をクリックします。
10. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。
11. 再起動するかどうかの確認画面で [はい] をクリックします。
12. 設定をリストアします。詳しくは、[P. 80 「RICOH Auto Color Adjusterの設定をリストアする」](#) を参照してください。

RICOH Auto Color Adjusterのバックアップを作成してリストアする

以下のようなときに、RICOH Auto Color Adjusterのバックアップを作成するか、設定をリストアします。

- [初期設定] セクションが修正される。
- RICOH Auto Color Adjusterが更新される。
- サーバーとして使用しているコンピューターを入れ替える。

RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成する

サーバーとしてソフトウェアを実行しているコンピュータで、RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成します。

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の[RICOH]アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [バックアップ/リストア/ログ] をクリックします。



m582om5643

4. [バックアップ] をクリックし、バックアップファイルの保存先を指定します。
5. [OK] → [最初の画面に戻る] とクリックします。

RICOH Auto Color Adjusterの設定をリストアする

RICOH Auto Color Adjusterの設定をリストアします。

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の [RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



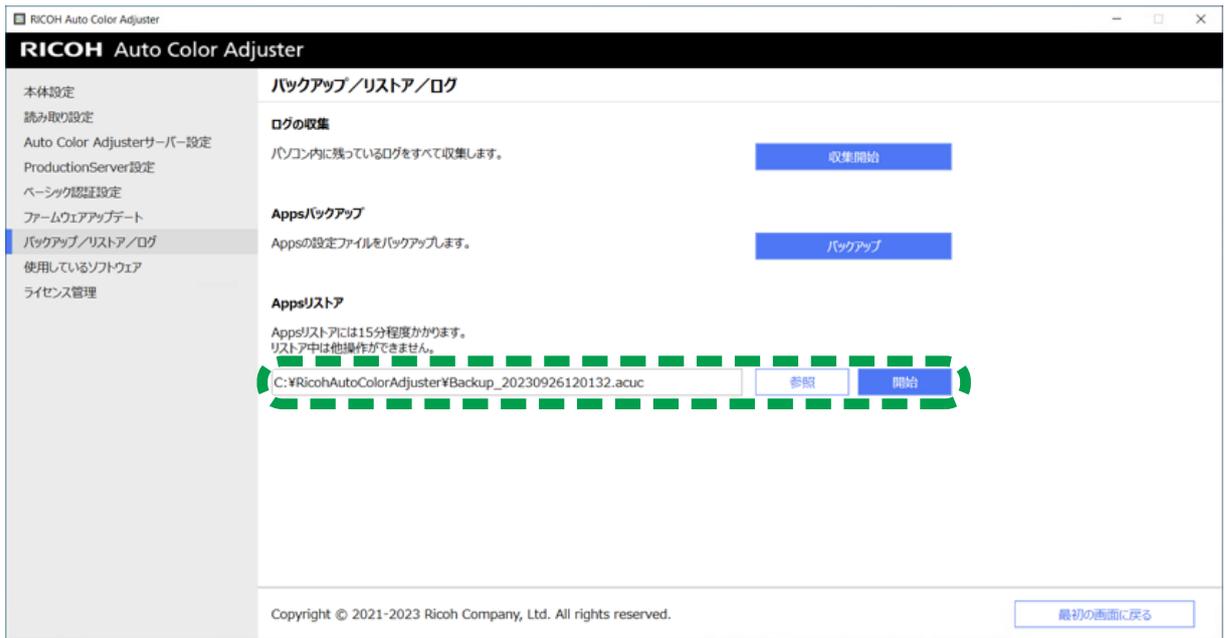
m5820m5958

3. [バックアップ/リストア/ログ] をクリックします。



m5820m5643

4. バックアップファイルの保存先を指定し、[開始] をクリックします。



m582om5644

5. リストアが完了したら、[終了] をクリックします。

9. 本機と接続しているコンピューターを入れ替える

- コンピューター入れ替え作業の流れ
- データバックアップを作成する
- データをリストアする

コンピューター入れ替え作業の流れ

本機と接続しているコンピューターを入れ替えるときに必要な作業の流れについて説明します。

1. データのバックアップを作成します（現在使用している古いコンピューター）。詳しくは、P.83 「データバックアップを作成する」を参照してください。
2. アプリケーションをインストールします（使用予定の新しいコンピューター）。詳細については、P.15 「RICOH Auto Color Adjusterをダウンロードしてインストールする」、P.19 「Fiery Command Workstationを入手する」、P.25 「Ghostscriptをインストールする」を参照してください。
3. 本機をコンピューターに接続します（新しいコンピューター）。詳しくは、P.29 「本機をコンピューターに接続する」を参照してください。
4. データをリストアします（新しいコンピューター）。詳しくは、P.86 「データをリストアする」を参照してください。
5. 製品をアクティベーションします（新しいコンピューター）。詳細については、P.89 「RICOH Auto Color Adjusterをアクティベートする」とColorGATEユーザーマニュアルを参照してください。
6. アプリケーションをアンインストールします（古いコンピューター）。詳しくは、P.93 「アプリケーションをアンインストールする」を参照してください。

データバックアップを作成する

サーバーに保存されているRICOH Auto Color Adjusterの設定情報と ColorGATE Productionserverライセンスファイルのバックアップを作成します。

ネットワーク接続などの方法を使用して、移行先の新しいコンピューターにバックアップファイルを保存してください。

9

RICOH Auto Color Adjusterの設定情報と校正モデルファイルのバックアップを作成する

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の [RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



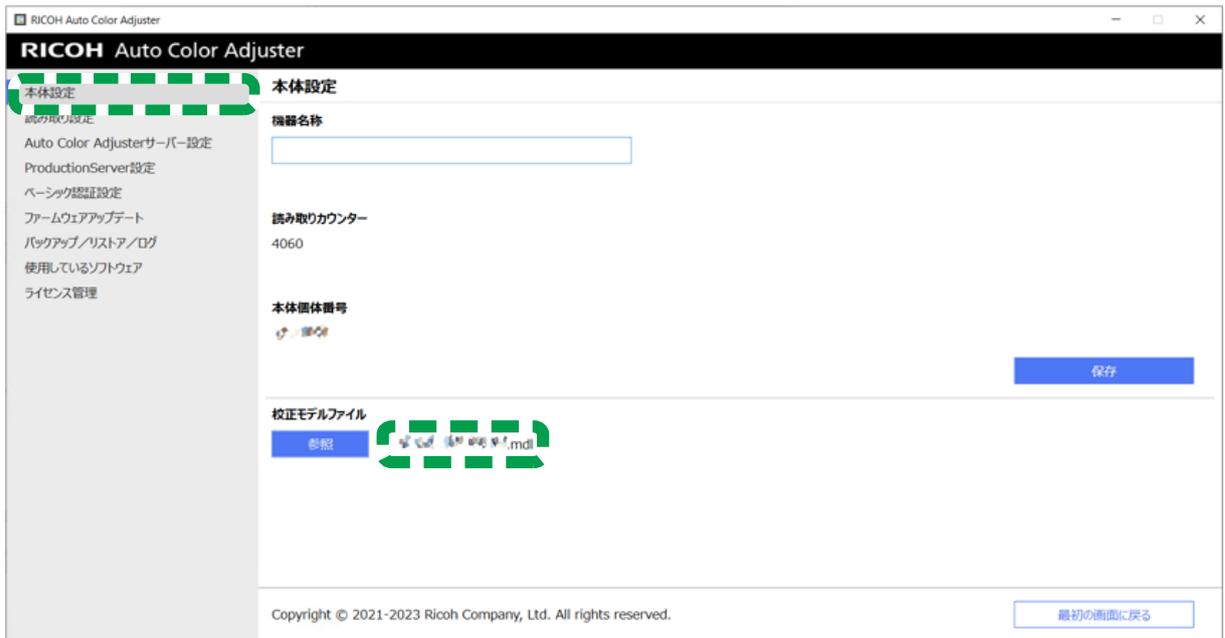
m5820m5958

3. [バックアップ/リストア/ログ] をクリックします。



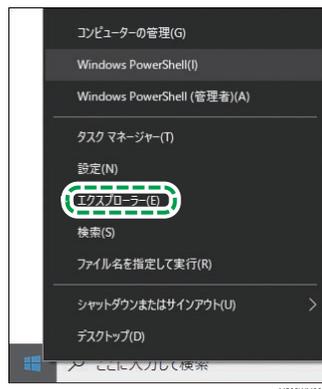
m5820m5643

4. [バックアップ] をクリックし、バックアップファイルの保存先を指定します。
5. [OK] をクリックします。
6. [本体設定] をクリックし、[校正モデルファイル] ファイル名を選択します。



m582om5631

7. [スタート] を右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。

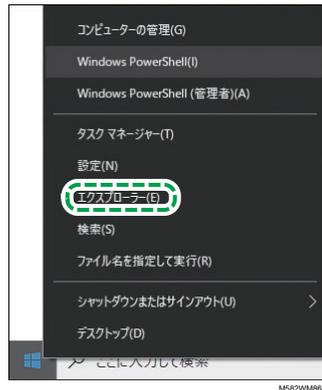


8. C:¥RicoHAutoColorAdjuster¥Apps¥EngController¥cmodelに移動し、選択した校正モデルファイルのファイルを保存します。

ColorGATE Productionserverライセンスファイルのバックアップを作成する

プリンターに接続しているコンピューターを交換する前に、ColorGATE Productionserverライセンスファイルのバックアップを作成します。

1. ライセンスをキャンセルするには、ColorGATEカスタマーサービスにお問い合わせください。
2. [スタート] → [Productionserver23] → [Productionserver23 - ライセンス解除] を選択します。
3. [解除開始] をクリックし、ライセンスが解除されたら [閉じる] を選択します。
4. [スタート] を右クリックし、[エクスプローラー] を選択します。



5. C:\ProgramData\ColorGATE Software\Productionserver23\ACDBフォルダーを開き、拡張子がACDBのファイルが格納されていることを確認します。
6. C:\ProgramData\ColorGATE Software\Productionserver23\ACDBフォルダーに戻り、ACDBフォルダーを保存します。
7. 新しいコンピューターにアプリケーションをインストールし、機器を接続してください。

↓ 補足

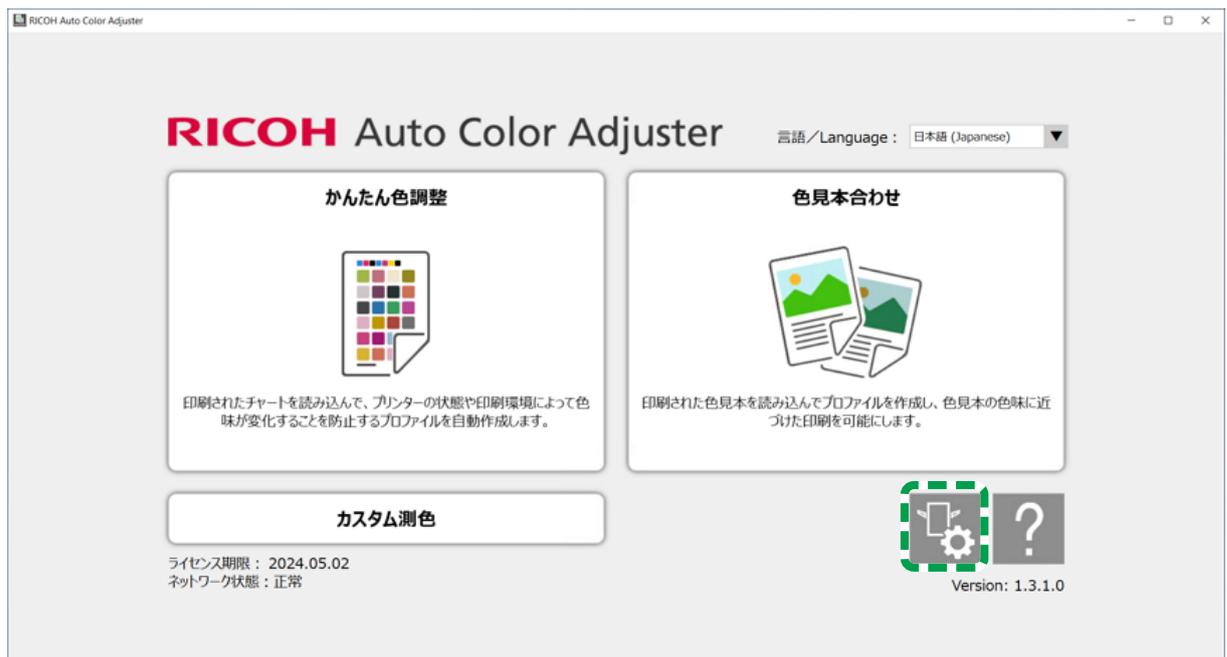
- RICOH Auto Color Adjusterのインストールについては、P. 15 「RICOH Auto Color Adjusterをダウンロードしてインストールする」を参照してください。
- ColorGATE Productionserverのインストールについては、ColorGATEユーザーマニュアルを参照してください。
- ColorGATE Productionserverの構成については、P. 22 「ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定する」を参照してください。
- Fiery Command Workstationのインストールについては、P. 19 「Fiery Command Workstationを入手する」を参照してください。
- GPL Ghostscriptのインストールについては、P. 25 「Ghostscriptをインストールする」を参照してください。
- プリンターとコンピューターの接続については、P. 29 「本機をコンピューターに接続する」を参照してください。

データをリストアする

RICOH Auto Color Adjusterの設定情報とColorGATE Productionserverのライセンスファイルをリストアする方法について説明します。

RICOH Auto Color Adjusterの設定情報と校正モデルファイルをリストアする

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の[RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [本体設定] → [参照] とクリックします。



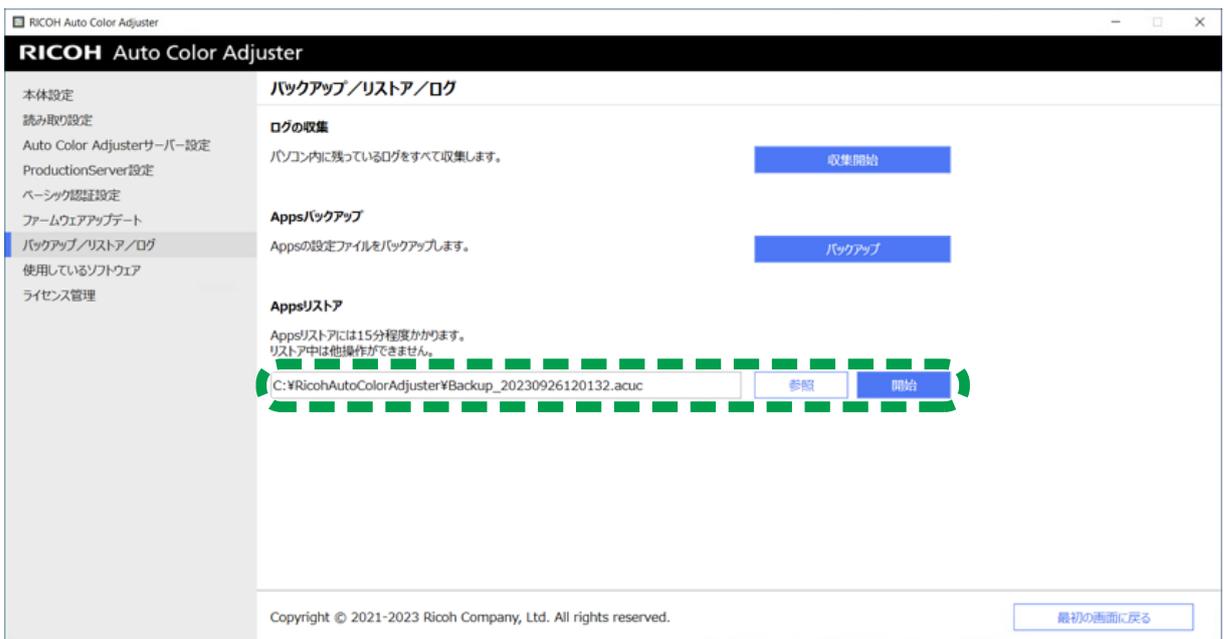
m5820m5640

4. 保存したファイルを指定します。
5. [バックアップ/リストア/ログ] をクリックします。



m582om5643

6. バックアップファイルの保存先を指定し、[開始] をクリックします。



m582om5644

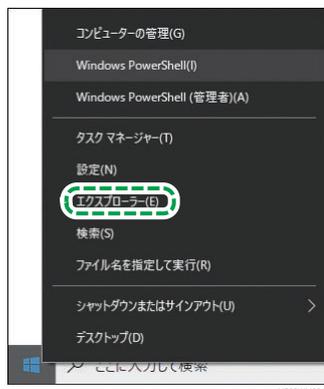
7. リストアが完了したら、[終了] をクリックします。

ColorGATE Productionserverのライセンスファイルをリストアする

事前にColorGATE Productionserverをインストールしておいてください。

↓ 補足

- ColorGATE Productionserverのインストールについては、ColorGATEユーザーマニュアルを参照してください。
1. [スタート] を右クリックし、[エクスプローラー] を選択します。



2. サーバーから入手したACDBフォルダーをC:¥ProgramData¥ColorGATE Software¥Productionserver23フォルダーに保存します。
3. 新しいコンピュータでColorGATE Productionserverをアクティベーションし、構成します。詳細については、ColorGATEユーザーマニュアルとP.22 「ColorGATE ProductionserverのRESTサーバーを設定する」を参照してください。

RICOH Auto Color Adjusterをアクティベートする

1. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されない場合は、デスクトップ上の[RICOH] アイコン () からアプリケーションを起動してください。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [ライセンス管理] → [接続] とクリックします。



m5820m5620

4. [システム名] に名前を入力します。

ライセンス設定
次のライセンス設定を編集できます。

RICOH Cloud Connectorを設定する

システム名*
このシステムまたはコンピュータのわかりやすい名前を入力します。システム管理者は、ユーザーおよびアクセス設定を管理するときに、この名前がRICOH Account Administrationに表示されます。

プロキシ設定*
プロキシサーバーは、ネットワークを保護するために使用されることがあります。プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシは使用するIPアドレスまたはホスト名を指定する必要があります。

私のIT組織がインターネットに接続するために設定したプロキシを使用します。

プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名

プロキシサーバーポート

M5820M5627

5. インターネットに接続するためにプロキシ設定が必要な場合は、[プロキシ設定] をします。

システム名*
このシステムまたはコンピュータのわかりやすい名前を入力します。システム管理者は、ユーザーおよびアクセス設定を管理するときに、この名前がRICOH Account Administrationに表示されます。

プロキシ設定*
プロキシサーバーは、ネットワークを保護するために使用されることがあります。プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシは使用するIPアドレスまたはホスト名を指定する必要があります。

私のIT組織がインターネットに接続するために設定したプロキシを使用します。

プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名

XXX

プロキシサーバーポート

XXX

プロキシをテスト

変更を保存

M5820M5628

- [私のIT組織がインターネットに接続するために設定したプロキシを使用します。] にチェックを付けます。
 - [プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名] を入力します。
 - [プロキシサーバーのポート] を入力し、[プロキシをテスト] をクリックします。
6. [コードを生成] をクリックします。
サインイン画面が表示されます。
7. [メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[サインイン] をクリックします。
- ↓ 補足
- RICOH Auto Color Adjusterのメールアドレスとパスワードを入力します。詳しくは、P.15 「[ライセンス管理のためのクラウド接続用パスワードを登録する](#)」を参照してください。
- 本機を複数台で運用している場合は、テナントを指定し、[ワンタイムコードの生成] をクリックします。
 - [コピー] → [閉じる] とクリックします。
ワンタイムコードがクリップボードにコピーされます。
 - コピーしたワンタイムコードを [ワンタイムコード] 入力欄に貼り付け、[送信] をクリックします。
 - 成功メッセージが表示されたら、[閉じる] → [変更を保存] とクリックします。

10. アプリケーションをアンインストールする

- RICOH Auto Color Adjuster をアンインストールする
- システム環境変数からGPL Ghostscriptのパスを削除する

このセクションでは、RICOH Auto Color Adjuster アプリケーションをアンインストールする方法と、GPL Ghostscript をアンインストールした後に環境変数を更新する方法について説明します。

RICOH Auto Color Adjuster をアンインストールする

↓ 補足

- アプリケーションを再インストールする場合など、RICOH Auto Color Adjusterの設定を保持したいときは、アプリケーションをアンインストールする前に設定のバックアップを作成してください。バックアップ方法については、[P. 79 「RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成する」](#)を参照してください。

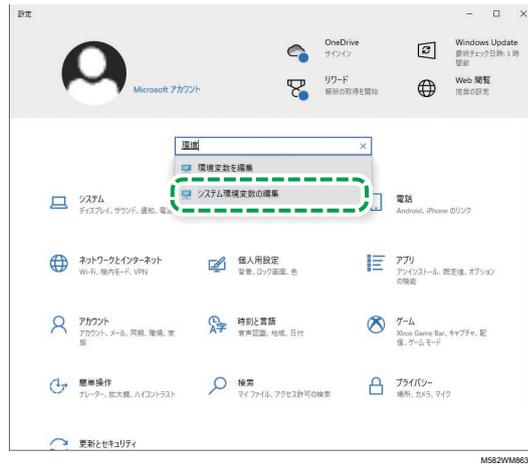
RICOH Auto Color Adjuster をアンインストールするには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピューターにログインします。
2. すべてのアプリケーションを終了します。
3. [スタート] → [設定] → [アプリ] を選択します。
4. [RICOH AutoColorAdjuster] を選択し、[アンインストール] を選択します。
5. [アンインストールを] 選択します。
アンインストールが開始されます。コンピューターを再起動するかどうかの確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。
6. 再起動するかどうかの確認画面で [はい] を選択します。

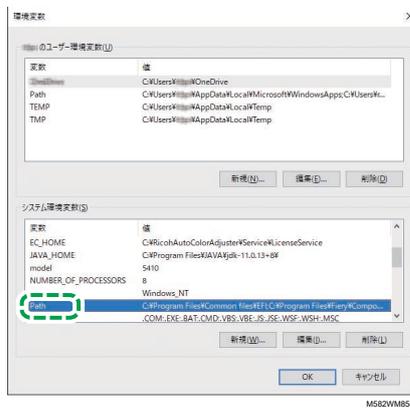
システム環境変数からGPL Ghostscriptのパスを削除する

GPL Ghostscriptをアンインストールしたら、環境変数から Ghostscript のパスを削除してください。

1. [スタート] → [設定] とクリックします。
2. 入力欄に環境と入力し、表示されるオプションから [システム環境変数の編集] をクリックします。



3. [環境変数] をクリックします。
4. システム環境変数の [Path] をダブルクリックします。



5. C:¥Program Files¥gs¥gs9.27¥binを選択し、[削除] をクリックします。
6. C:¥Program Files¥gs¥gs9.27¥libを選択し、[削除] をクリックします。
7. [OK] を2回クリックして、設定画面を閉じます。

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555
<http://www.ricoh.co.jp/>



お問い合わせ

お買い上げいただきました弊社製品についての操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

転居の際は、販売店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店をご紹介します。

